

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人
北区社会福祉協議会

目 次

令和5年度 事業報告

I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分	1
1. 法人運営事業サービス区分関連事業	1
(1) 組織運営事業	1
(2) 調査・研究・企画・広報事業	8
(3) 連絡調整事業	12
(4) 岸町ふれあい館運営	16
(5) 基金運営事業	17
2. 地域福祉事業サービス区分関連事業	19
(1) 地域福祉ネットワーク事業	19
(2) 福祉教育・啓発事業	20
(3) 援護事業	23
(4) コミュニティソーシャルワーク	24
(5) 第1層生活支援コーディネーター事業	28
3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業	37
(1) 友愛ホームサービス事業	37
(2) その他の在宅福祉サービス事業	41
4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業	44
(1) 地域福祉・ボランティア活動推進事業	44
5. 助成事業サービス区分関連事業	48
(1) 地域ささえあい団体助成事業	48
(2) 子ども・若者応援基金助成事業	51
6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業	52
(1) 地域福祉権利擁護事業	52
7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業	54
(1) 権利擁護センター「あんしん北」事業	54
(2) 成年後見活用あんしん生活創造事業	59
(3) 成年後見活用あんしん生活創造事業(委託)	63
8. 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業サービス区分関連事業	67
(1) 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業	67
9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業	68
(1) 生活困窮者自立支援センター事業	68
10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業	74
(1) 生活福祉資金貸付事務受託事業	74
11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業	76
(1) 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業	76
12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業	77
(1) 緊急援護たすけあい貸付事業	77

13. 子ども支援事業	78
(1) 学習支援事業	78
(2) ネットワーク支援事業	81
(3) その他の子ども支援事業	83
II. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分	84
(1) 歳末たすけあい運動事業	84
III. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分	85
1. 介護予防拠点施設事業	85
(1) ぷらっとほ一む滝野川東及びぷらっとほ一む桐ヶ丘の運営	85
2. 要介護認定調査事業	89
(1) 要介護認定調査事業	89
IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分	90
1. 自動販売機設置拠点事業	90
(1) 自動販売機設置拠点事業	90
V. その他	91
1. 地区担当	91
2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務	92
(1) 東京都共同募金北地区協力会	92
(2) 配分推せん委員会	93

令和5年度 事業報告

I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分関連事業(事務事業費 45,384 千円、人件費 35,773 千円)

(1) 組織運営事業 (48,324 千円)

① 会議・監査

ア. 理事会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第1回	6/6	9	12	A. 令和4年度事業報告書・収入支出決算書および監査報告について B. 役員等賠償責任保険契約について C. 北区介護予防拠点施設ぷらっとほむ桐ヶ丘 施設長の交代について D. 役員等就任時の年齢に関する申し合わせについて E. 評議員会への役員の推薦について F. 評議員の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について G. 令和5年度定時評議員会の招集について H. 感謝状の贈呈について
第2回	6/28	9	12	A. 会長の選定について B. 副会長の選定について C. 常務理事の選定について D. 顧問の選定について E. 監事の交代に伴う評議員会選任・解任委員の選任について F. 災害時等における協力体制に関する協定について
第3回	10/30	11	12	A. 会長および常務理事の活動報告について B. 評議員の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について
第4回	1/25	9	12	A. 給与規程の改正について B. 令和5年度第2回評議員会の招集について
第5回	3/13	9	12	A. 令和6年度事業計画・収支予算(案)について B. 令和5年度下半期の会長および常務理事の活動報告について C. 給与規定の改正について D. 第4次北区地域福祉活動計画(第Ⅱ期 令和6年度～令和8年度)(案)について

イ. 評議員会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第 1 回	6/28	19	26	A. 令和 4 年度事業報告書・収入支出決算書および監査報告について B. 役員の選任について
第 2 回	3/26	21	26	A. 令和 6 年度事業計画・収支予算（案）について

ウ. 監査

開催日	付 議 内 容
5/25	A. 令和 4 年度事業執行状況について B. 令和 4 年度各会計収支決算について C. 令和 4 年度財産の状況について（令和 5 年 3 月 31 日現在）

② 会員及び会費の状況

会員区分	令和5年度			令和4年度			差異		
	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)
個人会員	3,541	3,310	4,378,000	3,606	3,503	4,643,000	△65	△193	△265,000
団体会員	333	308	1,020,500	332	311	1,014,500	1	△3	6,000
賛助会員	706	668	1,538,500	713	689	1,620,500	△7	△21	△82,000
合計	4,580	4,286	6,937,000	4,651	4,503	7,278,000	△71	△217	△341,000

③ 寄付金等の状況

ア. 寄付金

寄付区分	令和5年度		令和4年度		差異	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般寄付金	202	5,589,073	174	11,910,621	28	△6,321,548
指定寄付金	92	3,865,225	27	2,382,582	65	1,482,643
介護予防事業のため	0	0	0	0	0	0
障害福祉事業のため	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉のため	0	0	0	0	0	0
児童福祉のため	23	1,994,565	27	2,382,582	△4	△388,017
地域福祉活動推進のため	0	0	0	0	0	0
災害関連のため	0	0	0	0	0	0
生活困窮者自立支援事業	1	100,000	0	0	1	100,000
生福資金受託事業	0	0	0	0	0	0
70周年事業のため	68	1,770,660			68	1,770,660
寄付物品	7	85,845	7	115,623	0	△29,778
合計	301	9,540,143	208	14,408,826	93	△4,868,683

イ. 施設整備等寄付金

寄付区分	令和5年度		令和4年度		差異	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
指定寄付金	59	1,781,219	33	1,925,451	26	△144,232
子ども若者応援基金	59	1,781,219	33	1,925,451	26	△144,232
合計	59	1,781,219	33	1,925,451	26	△144,232

④ 地域福祉活動計画等推進委員会

第4次北区地域福祉活動計画策定を受け、令和2年度より地域福祉活動計画等推進委員会を開催している。令和5年度については、第4次北区地域福祉活動計画の最終計画年度であったため、計画の総括評価や、次期計画の策定に向けた話し合いを行った。

ア. 第4次北区地域福祉活動計画の概要

基本理念	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
基本目標Ⅰ	一人ひとりが輝くことのできる地域社会の実現		
基本目標Ⅱ	誰もが互いにささえあい、つながり、参加できる共生社会の実現		
基本目標Ⅲ	従来の枠を越えてさまざまな可能性が生まれる地域社会の実現		
策定日	令和元年9月	発行部数	計3,000部

イ. 社会福祉法人北区社会福祉協議会 北区地域福祉活動計画等推進委員会（推進委員会）

開催回数	日程	内容
第1回	7/24	・第4次北区地域福祉活動計画 ワークショップについて
第2回	10/10	・第4次北区地域福祉活動計画 総括評価報告書について
第3回	12/8	・第4次北区地域福祉活動計画（第Ⅱ期 令和6年度～令和8年度）（案）について ・第4次北区地域福祉活動計画 総括評価報告書について
第4回	2/19	・第4次北区地域福祉活動計画（第Ⅱ期 令和6年度～令和8年度）（案）について ・第4次北区地域福祉活動計画 総括評価報告書について

⑤ 内部研修

開催日	研修名
4/24	予算説明会
7/20	予算説明会
10/24	災害新任職員研修
12/19	認定調査員研修
12/27	障がい者雇用研修

⑥ 外部研修参加（各業務別研修は除く）

(人)

開催日	研修名	実施機関	参加人数
4/28	地域福祉権利擁護事業 新任専門員・業務担当者研修	東京都社会福祉協議会	2
5/29	区市町村苦情対応機関基礎研修	東京都社会福祉協議会	1
5/17・5/31	チームリーダー研修	東京都社会福祉協議会	2
6/28	東京の防災と多様性配慮	東京ボランティア・市民活動センター	1
6/29・30	福祉職員初任者研修	東京都社会福祉協議会	1
6月～8月	精神保健福祉研修(前期) ※動画配信	東京都立精神保健福祉センター	18
7月	関東ブロック都市区町村社協職員合同研究協議会	全国社会福祉協議会	2
7/2	ボランティアコーディネーション力検定(3級)	日本ボランティアコーディネーター協会	4
7/24	区市町村社会福祉協議会における採用活動に関する情報交換会	東京都社会福祉協議会	1
7/25・26	第二種衛生管理者国家試験対策準備講習会	安全教育センター	1
9/14～19	成年後見制度利用促進体制整備研修	一般社団法人長寿開発センター	2
9/30	区市町村社協会長・役員・事務局長研究協議会	東京都社会福祉協議会	8
10/5・6	管理職研修	東京都社会福祉協議会	1
10/5～7	会計実務講座(初級)	全国社会福祉協議会	1
10/13	地域福祉権利擁護事業 専門員研修	東京都社会福祉協議会	1
11/7～9	会計実務講座(中級)	全国社会福祉協議会	1
11/7・8	福祉職員初任者研修(既卒者コース)	東京都社会福祉協議会	3
11/19	ボランティアコーディネーション力検定(2級)	日本ボランティアコーディネーター協会	3
2月	ファンドレイジング日本2024	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会	7
2/6	いわき・前橋・北合同職員研修	いわき・前橋・北社協合同実施	6
3/8	権利擁護支援シンポジウム 地域の権利擁護を支える市民後見人	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート	1

⑦災害対応に関する事業

⑦-a 災害時相互支援協定に基づく活動

ア. 北区及び NPO 法人東京都北区市民活動推進機構との協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：5/17、6/15、8/25、10/12、1/30）

内容	北区災害ボランティア事業に関する協議
会場	北区 NPO・ボランティアぷらざおよびオンライン会議
参加者数(人) ※〇内は参加人数	5/17：(9)、6/15：(7)、8/25：(6)、10/12：(6)、1/30：(6)

B. 広報啓発事業（三者共催）の実施

開催日	内 容	参加人数(人)
10/7、8	区民まつりの防災スタンプラリー参加者を対象に災害ボランティアセンターの広報活動を行った。	110

イ. 城北ブロック協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：7/12、10/24、12/22、3/6）

内容	年間活動計画に関する協議等
会場	北区 NPO・ボランティアぷらざ、荒川区社会福祉協議会、文京区社会福祉協議会、台東区社会福祉協議会
参加者数(人) ※〇内は参加人数	7/12：(16)、10/24：(18)、12/22：(17)、3/6：(16)

B. 城北ブロック災害連携講座の開催

開催日	内 容	参加人数(人)
12/8	城北ブロック・城東ブロック合同研修	30

ウ. いわき市社協および前橋市社協との協定に基づく活動

開催日	内 容	参加人数(人)
9月～10月	いわき市災害ボランティアセンター職員派遣	9
2/6	三社協合同研修会	37

エ. 東京青年会議所および北区、NPO 法人東京都北区市民活動推進機構との協定締結について
令和5年7月15日に、東京青年会議所、北区、NPO 法人東京都北区市民活動推進機構、当会の四者で災害時等における協力体制に関する協定を締結した。

この協定には、今後、北区内において地震その他の大規模な災害が発生した場合、災害ボランティアセンターの運營業務等について、東京青年会議所が協力をするとともに、4者が相互に連携を行うために必要な事項が定められている。

⑦-b 防災関連会議、イベント等への参加

開催日	内 容	参加人数(人)
11/19	第3回荒川流域防災住民ネットワーク2023 防災アイデア交換会	1
2/28	令和5年度区市町村災害時ボランティア担当者会議	2

⑦-c 訓練等の実施

開催日	内 容	備 考	参加人数(人)
10/24	災害新任職員研修（北社協備蓄品の確認、使用方法説明）	内部研修	4

⑦-d スタッフ養成研修等への参加

実施日	内 容	参加者数(人)
8/17	東京憲章勉強会第6弾「関東大震災から考える東京のまちづくり」	1

(2) 調査・研究・企画・広報事業 (20,753千円)

① 北区社会福祉協議会創立70周年事業

昭和28年8月20日に北区社会福祉協議会が創設され、令和5年度に70周年を迎えたため、「つなぐ つながる ささえあう北社協 70周年」をキャッチフレーズにさまざまな事業を実施した。また、令和5年11月12日には、これまでさまざまなご協力をいただいた地域の皆様に感謝の気持ちを伝えるため、記念式典・公演会を実施した。

ア. 記念式典・公演会

- A. 実施日 令和5年11月12日(日)
- B. 会場 北とびあ さくらホール
- C. 内容 記念式典、マイムアーティストの「が～まるちょぼ」による公演会
- D. 参加者 約1,000名(民生委員・児童委員協議会、北区町会自治会連合会の皆様 等)

イ. 実行委員会

回数	実施日	内容
1	1/17	事業のキャッチフレーズ、広報活動の検討 等
2	3/20	予算案の検討 等
3	5/22	記念式典・公演会の検討、チケット販売の検討 等
4	6/28	来賓・招待者の検討、企業協賛への取り組み状況 等
5	9/6	記念式典詳細の検討、各種関連事業報告 等
6	10/30	記念式典時程の最終確認 各種関連事業報告 等
7	1/25	事業報告、決算報告 等

ウ. 主な関連事業

A. 記念誌の作成

70周年を記念し、当会の事業紹介や地域の方のコメント等を掲載した記念誌を作成した。

B. アイちゃんぬりえの展示

当会のイベント等に参加した子どもたちに、当会キャラクターの「アイちゃん」のイラストに色を付けてもらい、ぬりえを作成した。作成したぬりえは、令和5年10月25日～11月7日の期間で、王子カルチャーロードに展示するとともに、記念式典において掲示した。

C. チャリティーカレンダーの販売

区内福祉作業所にイラスト制作を依頼し、そのイラストを掲載したカレンダーを作成して販売を行った。

D. 手話動画の作成

「ささえ愛の輪」の歌詞に、手話を付けた動画を区民の皆様から投稿してもらった。投稿いただいた動画は当会HPで公開した。

E. ノベルティーグッズの作成

70周年記念の「アイちゃんシール」や「ステッカー」等を作成し、各種イベントで配布した。

F. ラインスタンプの作成・販売

「アイちゃん」をモチーフにしたラインスタンプを作成し、販売した。

G. JR・北区観光協会との共同企画

JR・北区観光協会と協力し、区内JR駅、飛鳥山おみやげ館等を巡回するスタンプラリーを実施した。

エ. 協賛

- A. 団体数 12団体
- B. 協賛額 1,750,000円

② 広報紙「きたふくし」発行

年6回（奇数月15日）発行

各202,000部発行（カラー刷り） 区内全戸にポスティング。

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第172号	5/15	<p>【1面】 シリーズ・北社協70周年②</p> <p>【2面】 北社協の令和5年度の予算が決まりました</p> <p>【3面】 学習支援教室ボランティア募集 小学生向けプログラミング教室 ボランティアスタッフ募集</p> <p>【4面】 友愛ホームサービス サポートスタッフ募集説明会 福祉のしごと総合フェア 就職 相談・面接会 ご寄付、ありがとうございました</p>
第173号	7/15	<p>【1面】 北区社会福祉協議会 創立70周年記念公演 手話チャレンジ動画募集！</p> <p>【2面】 シリーズ・北社協70周年③ 子ども・若者応援基金 令和4年度参加者発表会・成果報告会を実施しました！</p> <p>【3面】 北社協 令和4年度決算報告 北区社会福祉協議会 会長就任のごあいさつ 新しい役員が決まりました！ 夏休み親子バスハイク 参加者募集 「あんしん北」専門相談</p> <p>【4面】 受験生チャレンジ支援貸付事業貸付金 ライフプランニングとお金の話 友愛ホームサービス利用会員募集！ ご寄付、ありがとうございました</p>
第174号	9/15	<p>【1面】 北社協創立70周年に伴う企業協賛などのお願い 手話チャレンジ動画募集！</p> <p>【2面】 シリーズ・北社協70周年④</p> <p>【3面】 「今から考える、老い支度」連続講座 赤い羽根共同募金にご協力お願いします！ 北区内で働ける求人あります！ こどもまんなか応援サポーター就任</p> <p>【4面】 子ども・若者応援基金を応援してください ご寄付、ありがとうございました</p>
第175号	11/15	<p>【1面】 シリーズ・北社協70周年⑤</p> <p>【2面】 歳末たすけあい募金はじまります！！ 親族後見人向け勉強会</p> <p>【3面】 子ども・若者応援基金助成申請がはじまります！ 職業体験イベント開催！ 友愛ホームサービス サポートスタッフ募集説明会</p> <p>【4面】 受験生チャレンジ支援貸付金申込受付開始！ ご寄付、ありがとうございました</p>

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第176号	1/15	<p>【1面】 年始のご挨拶 創立70周年記念式典・記念公演を開催いたしました！ 「アイちゃん」オリジナル LINEスタンプ販売中！</p> <p>【2面】 第15回ささえあいフェスタ 歳末たすけあい・地域福祉募金助成 申請団体向け説明会 福祉のしごと総合フェア 就職 相談・面接会 定年退職後のお金の話 子ども・若者応援基金助成事業「チャレンジプロ」 プログラミング講座のボランティア募集 ご寄付、ありがとうございました</p>
第177号	3/15	<p>【1面】 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい地域福祉募金へのご協力の御礼</p> <p>【2面】 アイちゃん×区内JR駅キャラ×しぶさわくんの コラボスタンプラリーを実施します 食品のご寄付にご協力ください 子ども・若者応援基金助成事業 小中学生対象プログラミング教室参加者募集 ご寄付、ありがとうございました</p>

③ ホームページの運営管理

ホームページの積極的活用

- ア. トップページバナーを利用した情報発信
イベント告知やきたふくし記事などを紹介。

イ. QRコードの活用

ホームページのアクセス向上をめざし、きたふくしやチラシにQRコードを掲載。

④ フェイスブックページ/インスタグラムの活用等

令和5年度に実施したコミュニティソーシャルワーカーによる地域活動や創立70周年事業における各種案内、寄付・協賛等の報告を広く地域の方々向けに情報を発信するとともに、民生委員児童委員協議会にて報告を行った。また、令和5年7月1日から11月末まで、東洋大学赤羽台キャンパスの学内3か所に当会Instagramフレームを設置し、広報を行った。

⑤ 北区社会福祉協議会各事業の機関紙

ア. 友愛ホームサービス機関紙「ゆうあい」（年4回）を発行。

イ. 地域ささえあい団体広報紙「ささえあい新聞」（年3回）を発行。

⑥ 地域の行事参加

10/7(土)、8(日)第40回ふるさと北区 区民まつり@赤羽公園
3/16(土)、17(日)新1万円札発行100日前フェスティバルin赤羽@ビビオ七福神広場

※地域福祉系の職員が参加した行事は、4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分
関連事業のページを参照。(P44～)

※介護予防拠点施設(ぷらっとほーむ)の職員が参加した行事は、Ⅲ.1. 介護予防拠点施設事業の
ページを参照。(P85～)

⑦ 出前講座

出前講座は開催せず。

※権利擁護センター「あんしん北」が行った出前講座については、7. (1) 権利擁護センター
「あんしん北」事業のページを参照。(P54～)

(3) 連絡調整事業 (3,420千円)

① 福祉のしごと総合フェア (北区から受託)

区内の福祉施設を中心とした福祉事業所による、就職合同相談・面接会。

北区、北区社会福祉協議会、東京都福祉人材センター、ハローワーク王子の4者共同で、下記のとおり開催した。

開催回数	開催日	会場	参加事業所数 (法人)	参加者 (人)	採用者 (人)
第1回	7/28	北とぴあ飛鳥ホール	24	54	6
第2回	10/13	北とぴあ飛鳥ホール	25	56	8
第3回	2/9	北とぴあ飛鳥ホール	25	72	7
合計			74	182	21

令和5年度福祉のしごと総合フェアにて求人ブース出展をした法人(順不同)

第1回 (7/28)

No.	法人名	事業種別
1	東京福祉サービス株式会社	高齢
2	社会福祉法人晴山会	高齢
3	株式会社京北健友会	高齢
4	株式会社さくら総合福祉	高齢
5	社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
6	株式会社ケアネット・トキ	高齢
7	東京ほくと医療生活協同組合	高齢
8	東京海上日動ベターライフサービス株式会社	高齢
9	区民介護株式会社ほのぼのステーション赤羽	高齢
10	株式会社ソラスト	高齢
11	株式会社 RARECREW	高齢
12	社会福祉法人うらら	高齢
13	医療法人財団逸生会	高齢
14	株式会社エイプレイス	高齢
15	医療法人社団岩江クリニック	高齢
16	社会福祉法人東京都福祉事業協会	高齢
17	アサヒサンククリーン株式会社	高齢
18	社会福祉法人こうほうえん	高齢
19	株式会社パソナフォスター	保育
20	株式会社ポピンズエデュケア	保育
21	社会福祉法人ドリームヴィイ	障がい
22	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会	障がい
23	株式会社 WITH	障がい
24	株式会社ヒロプランニング	障がい

第2回 (10/13)

No.	法人名	事業種別
1	医療法人杏林会	高齢
2	合同会社ななは	高齢
3	アサヒサンクリーン株式会社	高齢
4	東京ほくと医療生協協同組合	高齢
5	株式会社さくら総合福祉	高齢
6	株式会社 RARECREW	高齢
7	公益社団法人地域医療振興協会	高齢
8	東京福祉サービス株式会社	高齢
9	医療法人財団逸生会	高齢
10	社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
11	株式会社トリードアート	高齢
12	ALSOK 介護株式会社	高齢
13	東京海上日動ベターライフサービス株式会社	高齢
14	株式会社ケアネット・トキ	高齢
15	株式会社やさしい手	高齢
16	社会福祉法人泉陽会	高齢
17	社会福祉法人日の基社会事業団 日の基青老閣	高齢
18	社会福祉法人新栄会	高齢
19	社会福祉法人東京都福祉事業協会	高齢
20	社会福祉法人讃仰会	保育
21	社会福祉法人東京聖労院	保育
22	一般社団法人サンベビー保育園	保育
23	社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
24	特定非営利活動法人わくわくかん	障がい
25	東京ふれあい医療生協	高齢・障がい

第3回 (2/9)

No.	法人名	事業種別
1	アースサポート株式会社	高齢
2	医療法人社団福寿会	高齢
3	株式会社大起エンゼルヘルプ	高齢
4	株式会社ハンドベル・ケア	高齢
5	社会福祉法人泉陽会	高齢
6	株式会社 YOU 優 CARE	高齢
7	社会福祉法人うらら	高齢
8	セントケア東京株式会社	高齢

9	東京ほくと医療生活協同組合	高齢
10	株式会社京北健友会	高齢
11	東京福祉サービス株式会社	高齢
12	SOMPO ケア株式会社	高齢
13	株式会社やさしい手	高齢
14	社会福祉法人晴山会	高齢
15	社会福祉法人新栄会	高齢
16	社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
17	区民介護株式会社	高齢
18	社会福祉法人北区社会福祉事業団	高齢
19	社会福祉法人東京都福祉事業協会	高齢
20	社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
21	社会福祉法人あゆみ	障がい
22	株式会社ソラスト	高齢・保育
23	社会福祉法人ゆうゆう	保育
24	社会福祉法人茂原高師保育園	保育
25	社会福祉法人東京聖労院	保育

② 福祉事業者向け研修会(北区から受託)

福祉事業所の職員定着化支援のため、職場定着や職員のスキル向上のための研修会を行った。

No.	研修名	開催日	会場	参加人数 (人)
1	仕事ができる人の「コミュニケーション術」	7/6	岸町ふれあい館第5集会室	26
2	ほめる力向上研修	8/9	岸町ふれあい館第5集会室	27
3	広報力研修	10/19	岸町ふれあい館第5集会室	27
4	その時、あなたは？利用者は？災害対応研修	11/8	岸町ふれあい館第5集会室	22
5	福祉職員のためのメンタルヘルス研修	1/11	岸町ふれあい館第5集会室	16
6	ハラスメント研修	2/7	岸町ふれあい館第5集会室	22
合計				140
(カッコ内は令和4年度実績)				(134)

③ 実習生等の受入

No.	実習名	実施日	学校名・団体名
1	公的機関見学（実習）		受入なし
2	新任職員現場実習		受入なし
3	ソーシャルワーク実習Ⅰ	8/4～9/16 (24日間)	東洋大学ライフデザイン学部 東洋大学社会学部 東京家政大学人文学部 上智大学総合人間科学部より 1 名ずつ受入（計4名）
4	ソーシャルワーク実習Ⅱ	6/10～12/5 (5日間)	東洋大学ライフデザイン学部 より受入(計10名)
5	障がい者就労体験		受入なし

④ 社会福祉法人との連携

ア. 北区社会福祉法人部会

社会福祉法人による地域公益活動の取り組みを推進するため、平成28年度に設置した北区社会福祉法人部会において、以下の取り組みを実施した。

A. 北区社会福祉法人部会の開催

令和4年度に開催した社会福祉法人部会をきっかけに、連携した取り組みを行った法人の事例発表を行うとともに、地域公益活動を具体化するためのポイントについて、グループごとに意見交換を行った。

開催日	開催内容	参加法人数
3/25	1. 事例発表 書初めと昔遊びイベント（豊島地区） 2. グループディスカッション (地域公益活動を具体化するためのポイントを事例報告から学び、各グループにて意見交換を行う)	12

B. 北区社会福祉法人部会幹事会

令和5年度は幹事会の開催はなし。

イ. 桐ヶ丘サロンあかしの支援

誰でもふらっと立ち寄れる居場所・交流・出会いの場として、(福)ドリームヴィ、(福)東京聖学院、北区社会福祉協議会が協力して、住民主体で運営することを大切にしながら、地域支援ネットワーク事業として運営している。

※運営支援の詳細については 2. 地域福祉事業サービス区分関連事業にあるコミュニティソーシャルワークの活動報告を参照。(P24～)

(4) 岸町ふれあい館運営（北区から受託）（7,295千円）

館内施設名	区分	年間合計
第1集会室（定員21人）	利用件数（件）	578
	利用人数（人）	4,589
	利用率（%）	55.5
和室（定員12人） 高齢者福祉コーナー	利用件数（件）	69
	利用人数（人）	1,260
	利用率（%）	19.9

* 集会室の定員は、テーブル使用時の人数

* 集会室の貸出は午前、午後、夜間の3コマで、それぞれ利用1件とカウントする（1日最高計3件）
ただし、和室は、午前・午後は高齢者福祉コーナーとして使用しているため、一般貸出は夜間の1コマのみ

* 利用率＝利用件数／総貸出可能コマ数

【新型コロナウイルス感染症の影響によるふれあい館運営への影響】

①一般貸出の際の使用制限等

②北区・北社協による占有（用途・期間）

館内施設名	用途	期間
第2集会室（定員45人）	権利擁護センター・あんしん北事務局	令和3年4/1～ 現在※
第3集会室（定員24人）	北区くらしとしごと相談センター 就労支援コーナー（受託：パソナ）	令和3年4/1～ 現在※
第5集会室（定員108人）	北区役所庁用会議室（総務課管理）	令和2年9/1～ 現在※

※令和5年度も引き続き利用継続。

(5) 基金運営事業 (1,365 千円)

① 子ども・若者応援基金

令和5年度は1個人3団体の助成を行い、それぞれの活動でより活動が広がるように支援を行った。各取り組みについては基金運営委員会等からの意見を反映させた。

寄付に関する活動として、事業寄付を優先して受付したことにより原資寄付は12,000円に留まった。基金の助成プログラムの進捗として、中間報告書の作成やFacebook、Instagram等で活動の周知に努めた。

ア. 子ども・若者応援基金運営委員会活動状況

No.	開催日	参加者(人)	内 容
1	7/5	21	第1回運営委員会(年間計画、前年度収支報告 ほか)
2	7/21	13	第1回広報分科会(基金PR ほか)
3	8/2	16	第1回審査分科会(R6年度助成募集審査基準 ほか)
4	11/7	14	第2回広報分科会(R6年度助成募集周知方法 ほか)
5	2/2	14	第2回審査分科会(R6年度助成申請審査)
6	2/21	19	第2回運営委員会(次年度年間計画案、R5年度収支見込 ほか)

イ. 子ども・若者応援基金収支

項目	区分	令和5年度(円)	令和4年度(円)	前年度比(円)
原資寄付	収入	12,000	632,000	▲620,000
事業寄付	収入	1,769,219	1,293,457	475,762
助成支出	支出	1,145,600	209,597	936,003
基金運営費	支出	258,716	462,384	▲203,668

② 個人チャレンジ助成(1名)

小学4年生児童がフェンシングの上達と、楽しさを同級生や同年代の児童に伝える狙いとして「アミュゾン・フェンシング(フランス語で楽しいフェンシング)」を実施。区内の関係機関や学校等に協力を仰ぎ、オリンピック金メダリストを始めトップアスリートへのインタビューや練習等への参加を行った。

【協力者・団体】敬称略

城北信用金庫 Johoku Athletes Club、北区スポーツ推進課、王子総合高校、北区フェンシング教室、滝野川もみじ小学校、宇山 賢(東京オリンピックフェンシング金メダリスト)

③ 団体活動助成（3 団体）

ア. NPO チャレンジプロ（本格的でわかりやすいプログラミング講座）

- a 内 容：Python を使ったプログラミング、英語学習
- b 参加者：小学 4 年生～6 年生
- c 基金の使い道：子どもに貸与するパソコン代
- d 取り組みの目的・内容
 - 本格的なマシン言語を学び、参加する子どもの興味関心を広げる。さらに多様な世代、職業の大人との出会いの場とする。

イ. NPO 法人彩結び（cafe 店員おしごと体験）

- a 内 容：いろむすび cafe お仕事体験（全 13 回）
- b 参加者：年少～小学 6 年生
- c 基金の使い道：備品購入費、広報費、消耗品費（エプロン等）ほか
- d 取り組みの目的・内容
 - ・働くことを体験して職業に興味関心を持つきっかけ（第 1 歩）となる
 - ・地域の大人、異年齢の子どもたちとの交流
 - ・お金の概念や仕組みについて学ぶ

ウ. へいへいと遊ぼう！（声優体験）

- a 内 容：へいへいと遊ぼう！声のお仕事体験
- b 参加者：小中学生
- c 基金の使い道：声優用マイク購入、会場費、消耗品費ほか
- d 取り組みの内容・目的
 - ・第 1 回 発声滑舌基礎練習編
 - ・第 2 回 物語を読んでみよう編
 - ・第 3 回 読み合わせをしてみよう編
 - ・第 4 回 映像に合わせてみよう編（協力：東京家政大学造形表現学科）

④ 成果発表会・報告会

ア. 参加者発表会（参加者・協力者向け）

令和 4 年度のプログラムに参加した子ども、保護者、事業協力者、関係大学を招き、活動の振り返り及び参加者、協力者への感謝を伝え、令和 4 年度プログラムの集大成とするイベントとして 6/2（金）に北とぴあ 1060 会議室にて開催し、約 40 名の参加があった。

イ. 成果報告会（寄付者層向け）

これまで基金へ支援をしていただいた個人、企業、関係大学などを招き、令和 4 年度の取り組みに対する感謝と報告を 6/2（金）に北とぴあ QUAD17 にて開催し、約 40 名の参加があった。

2. 地域福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費6,920千円、人件費36,778千円)

(1) 地域福祉ネットワーク事業 (13,136千円)

①サロン縁じょい田端駅通り商店街(愛称:谷田橋サロン)の開催

(ア)開催回数:140回

(イ)参加人数:1,023人(平均7人/1回)

(ウ)ボランティア、協力者数:245人(平均2人/1回)

(エ)運営について

運営委員会を設置し、月1回の委員会にて具体的な企画や運営等について検討した。

運営委員会は毎月第2金曜日、午後3時半~5時に開催した。

【コロナ禍の対応】

地域住民の孤立防止、問題の早期発見、担い手発掘を目的として当会が田端駅通り商店街振興組合と共同設置し、地域住民や関係機関と共に運営。これまで、ボランティアグループによるカフェサロンや体操等を毎週月・水・金曜日の午後に実施してきた。

令和5年度は、コロナ禍で制限していた利用者定員をなくし、飲食可能としたことで、サロン参加人数がコロナ禍前に戻った。また、7月には七夕企画、10月には周年イベントを開催し、サロン常連者だけでなく、多くの近隣住民に参加いただくことができ、サロンの広報にも役立った。共同運営していた田端駅通り商店街振興組合の事務所閉鎖を機にサロン会場が借りられなくなったことから、令和6年3月に閉所することになった。令和5年度からは運営委員会メンバーを中心に田端・中里エリアに設置されたCSWと共に新たなサロンネットワークが立上がり、地域での活動継続のための取り組みを行っている。

②志茂地区小地域福祉活動拠点(愛称:しもぞうハウス)の運営

地域住民の孤立防止、問題の早期発見、担い手発掘を目的として北社協が地域住民や関係機関と連携しながら運営している拠点である。主に「多世代共生および地域の交流・助け合い」を目的として、だれでも集える居場所やサロン、会議・勉強会等の活動を行う団体に対する貸出し事業を行っている。

(ア)利用登録団体数:17団体

(イ)開所日数:210日(団体への貸出日)

(ウ)利用人数:1,168人(ボランティア:766人、来場者:402人)

(エ)運営について

志茂地区で活動している「志茂ジェネ協議会」等の地域団体と連携して拠点運営に関する検討や開所日の来所者対応などを行ってきた。

令和5年度は、利用団体同士の交流会を開催し、より使いやすい活動拠点になるよう、団体間のネットワークづくりや拠点の整備などを行った他、しもぞうハウスでの活動内容を近隣住民に広報するため、各団体の活動状況を記載した月間予定表を通行人が見える位置に掲示した。

(2) 福祉学習・啓発事業 (253 千円)

本事業は、係横断の職員で編成する福祉学習プロジェクトチームが担当した。

① 事業内容

- ア. 学校での福祉学習プログラムの実施
- イ. 福祉学習プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出
- ウ. 町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、体験プログラム等を実施
- エ. 福祉学習についての広報
- オ. 福祉学習プログラム開発等に係ること

② 実績

ア. 学校での福祉学習プログラムの実施

プログラムの実施にあたっては、各担当教員等にヒアリングし、希望に合ったプログラムを作成、実施している。(人)

No.	実施校	対象 (学年)	プログラム内容	講師など	実施日	参加者数
1	袋小学校	5	肢体不自由についての講話、車イス体験	自立生活センター北代表 小田さん 赤羽北高齢者あんしんセンター	7/14	66
		5	視覚障がいについての講話・体験	視覚障がい当事者 白井さん パートナー犬 オペラ	9/21	
2	桐ヶ丘郷小学校	3	高齢者交流、車イス体験	桐ヶ丘やまぶき荘高齢者あんしんセンター 堀田さん 学区内高齢者 6 名	9/26	78
3	谷端小学校	5	視覚障がい・聴覚障がい・高齢者体験	北社協職員	10/24	26
		3	視覚障がいについての講話①・体験、ユニバーサルデザインについて	視覚障がい当事者 白井さん パートナー犬 オペラ	12/11	35
		3	視覚障がいについての講話②	視覚障がい当事者 権田さん	12/18	35
		4	聴覚障がい講話・体験	北区コミュニケーション・モア代表 中村さん、山下さん、高田さん、 川越さん	1/23	36
4	東十条小学校	4	視覚障がいについての講話・交流	北区視覚障害者福祉協会 鈴木さん	11/24	99
5	豊川小学校	4	高齢者体験・ユニバーサルデザインについて	豊島三丁目町会会長 長谷川さん 豊島高齢者あんしんセンター 熊木さん	12/19	78
6	堀船小学校	5	肢体不自由についての講話、車イス体験	特定非営利活動法人 重度心身障がい児・者親子の会スマイリーサン 代表 高橋さん	1/16	51
		4	視覚障がいについての講話	北区視覚障害者福祉協会 鈴木さん	2/20	62
7	岩淵小学校	4	視覚障がいについての講話	カモミールの会 中野さん ガイドヘルパー 三野さん	2/8	29
8	十条小学校	4	高齢者体験・交流	中十条三丁目町会会長 直井さんら 計 8 名、十条台高齢者あんしんセンター 米山さん	2/16	47

イ. 福祉学習プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出

No.	実施校	内容
1	王子小学校	3年生向けに王子狐の落語について落語家さんを紹介
2	滝野川第二小学校	認知症サポーター養成講座について、滝野川西高齢者あんしんセンターを紹介
3	袋小学校	5年生向けに認知症サポーター養成講座について、赤羽北高齢者あんしんセンターを紹介

ウ. 町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、体験プログラム等を実施

No.	実施校	内容	会場	実施日
1	北区小学校教員(北区教育研究会生活・総合的な学習研究部)	プログラム紹介(視覚障がい、車イス体験、高齢者体験)	王子小学校	10/18

エ. 福祉学習についての広報

No.	広報の方法	内容
1	フェイスブックの掲載	福祉学習プログラム実施の報告。(5回)
2	福祉学習ニュースの配布	北区校園長会にて1年間の取り組みの報告。(1回)

オ. 福祉学習プログラム開発等に係ること

これまで福祉学習プログラム提供に関わっていただいた関係機関、団体、地域住民の方に当会の福祉学習事業の目的を改めて共有し意見交換をすることで福祉学習プログラムの提供体制の強化、より協働したプログラム提供を行うきっかけづくりを目的として、今年度は以下を実施した。(人)

No.	プログラム名	内容	会場	参加者数
1	福祉学習実践者交流会	事例紹介、意見交換会	岸町ふれあい館第5集会室	16

(参考) 学校で実施している福祉学習プログラムの例

※実施校の希望により内容変更あり

No.	内 容	プログラム
1	視覚障がい ・見え方の違いの理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（アイマスク体験・ユニバーサルデザイン・スポーツ・ゲーム）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、グループワーク、まとめ（感想文）
2	補助犬の理解	当事者からの講話、補助犬法について（補助犬ユーザーってどんな人）、補助犬とのかかわり方、まとめ
3	肢体不自由の理解	車イス体験及び感想、当事者からの講話、まとめ
4	聴覚障がい ・聞こえ方の違いの理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（伝言ゲーム・DVD鑑賞など）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、まとめ（感想文）
5	高齢者の理解	高齢者疑似体験（聴力、視力、感覚の鈍さなど）、認知症サポーター養成講座の実施（北区高齢者あんしんセンターと共同）
6	地域ネットワーク	社協紹介 DVD 上映、パネルディスカッション（民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司など地域の支援者の役割を事例にて紹介）、まとめ
7	ユニバーサルデザイン、ゆるスポーツ、ユニバーサルスポーツ	ユニバーサルデザイングッズ紹介・体験、ユニバーサルスポーツ紹介・体験（サウンドテーブルテニス）、まとめ
8	地域課題の理解	民生委員・児童委員講話、グループワーク（皆が住みやすいまちってどんなまちだろう）、まとめ
9	多様性の理解	宝物交換ゲームを通して様々な価値観を知る（自分の宝物を友達に紹介する）、グループワーク（みんなの宝物は何か、みんなが仲良く暮らすにはどうしたらよいか）、まとめ
10	募金について	寄付や募金とは何か、さまざまな種類、使われ方など

(3) 援護事業 (49千円)

① 災害見舞金支給事業

区内在住の火災等の被災者に対し、見舞金を支給する。

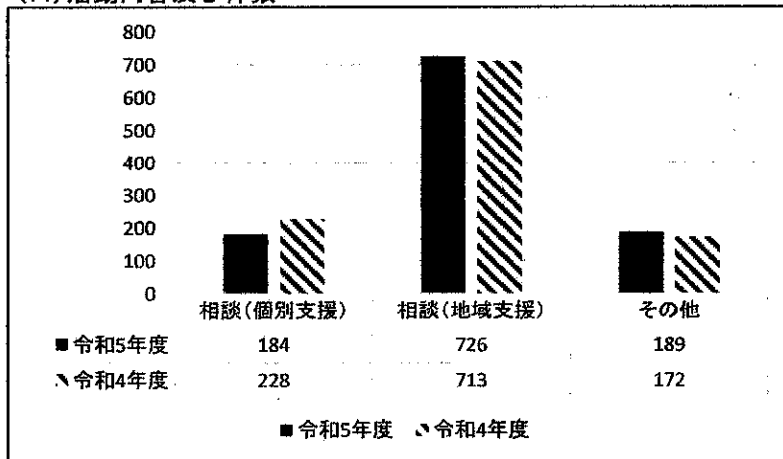
区 分	世帯等	(円)	(件)	(円)
		単価	件 数	金 額
火災見舞金	一般	5,000	4	20,000
	単身	3,000	3	9,000
	死亡	5,000	2	10,000
	小計		9	39,000
水損見舞金	一般	5,000	1	5,000
	単身	3,000	0	0
	小計		1	5,000
水害見舞金	一般	5,000	1	5,000
	単身	3,000	0	0
	小計		1	5,000
総 計			11	49,000

(4) コミュニティソーシャルワーク (21,635千円)

①行動記録

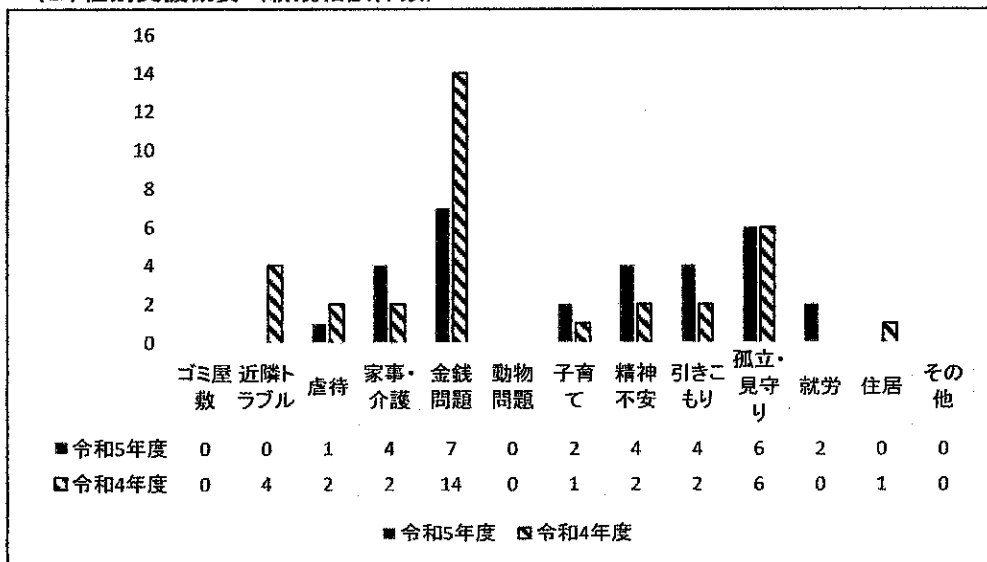
(ア) 神谷・東十条地区の取り組み

(A) 活動内容及び件数



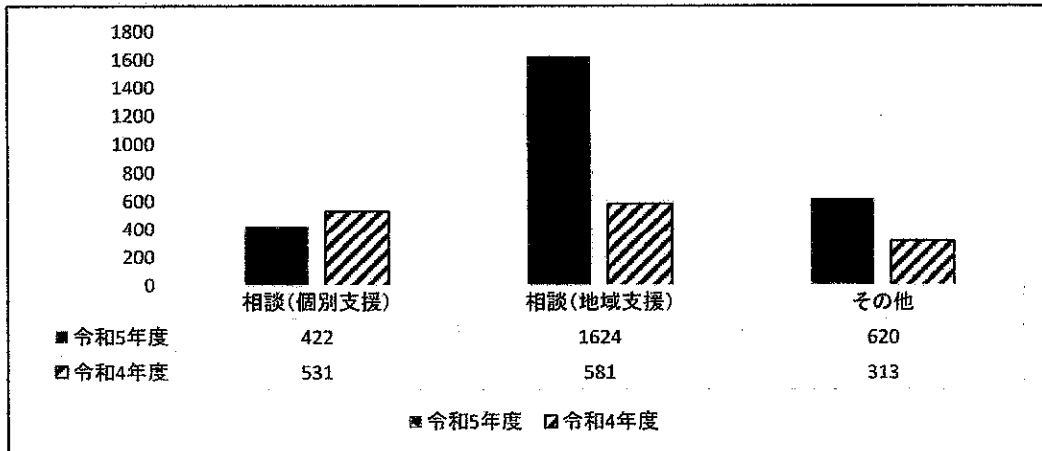
個別支援件数は昨年度比で減少したが、地域支援の件数が増加した。新たに神谷地区で立ち上がった子どもの居場所「あうら」への支援や、下半期には高齢化率の高い神谷3丁目の都営住宅での居場所作りに注力したため地域支援の件数が増加したとみられる。

(B) 個別支援概要 (新規相談件数)



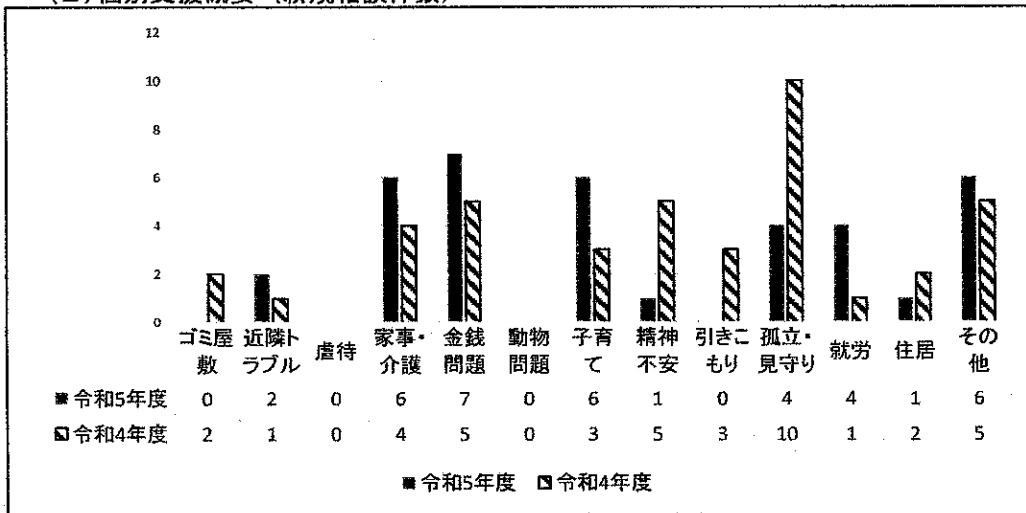
個別支援相談件数全体としては、昨年と比較すると微減であったが、精神不安、ひきこもりの件数が増加している。ともに継続的に関わる必要性がある相談が多かった。また、家事・介護の件数増加については、各居場所活動の見守りの意識がこれまでより高くなり、顔の見える関係性が構築されたためCSWに介護保険等の相談が増加したと考えられる。

(イ) 桐ヶ丘地区の取り組み
 (A) 活動内容及び件数



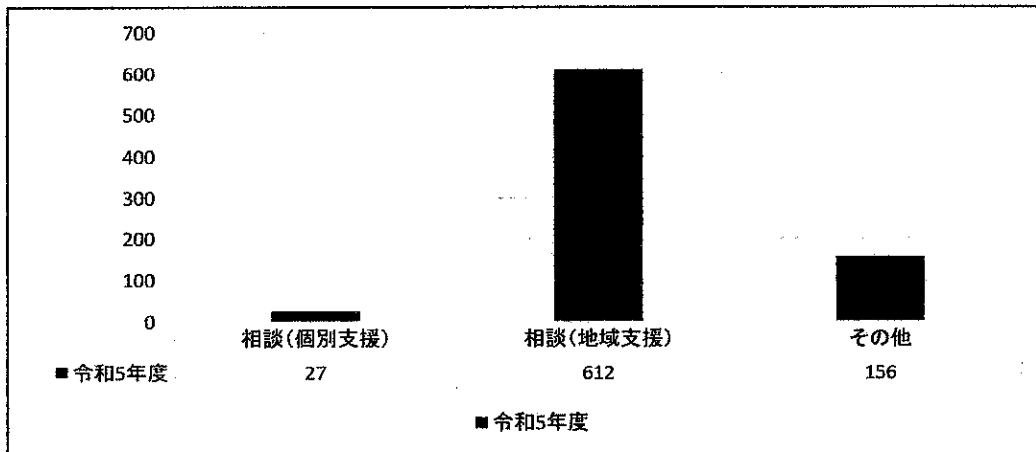
昨年度比で個別支援が減少。関係機関と連携し、直接支援を実施した件数が少ないことも起因していると考え。地域支援の件数は1,000件ほど増加。5年度は外国籍支援・交流の場「TOMONI」の立上げや「桐ヶ丘団地西地区自治会・桐ヶ丘114自治会・桐ヶ丘27号棟自治会の合同アセスメント」に注力し、関係機関と連携してのアセスメントや運営支援を実施。また「第二期東京都地域福祉支援計画」の中間見直し等への協力もあり、件数が増加した。その他の件数増加については、Facebook・instagram等を活用した広報啓発を意識的に実施した回数が多いことによる。

(B) 個別支援概要 (新規相談件数)



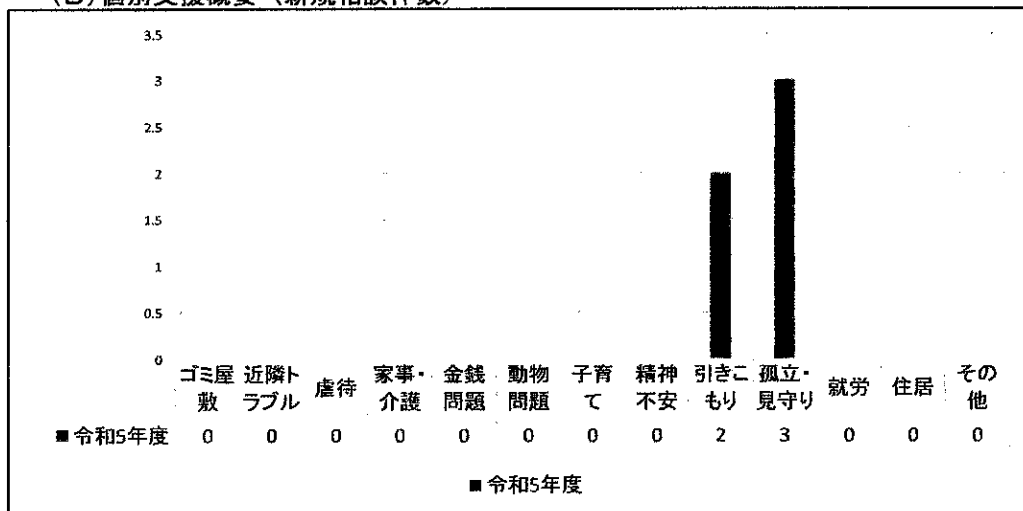
個別支援については、例年「家事・介護」「子育て」「孤立・見守り」に関する新規相談ケースがみられる。「高齢」「障がい」「子ども」などにまたがる複合課題やフォーマルサービスでは対応できない相談があった。また、ヤングケアラー世帯の状況を把握した地域関係者からの相談が増加。引き続き個別課題を把握できるような地域のネットワーク形成を図っていく。

(ウ) 田端・中里地区の取り組み
 (A) 活動内容及び件数



令和5年度は田端・中里地区へのCSWの配置初年度のため、CSWの取り組み周知や、地域関係者との関係形成に重点をおいた活動をおこなった。地域支援では、社協が田端地区に設置していた谷田橋サロンが年度末で閉所することに伴い、サロンで活動していた団体に向けた継続支援や、新たに地域で体操グループを立ち上げたいというニーズへの伴走支援を行った。また、田端エリアで住民懇談会を複数回開催し、地域の資源・お宝に関する情報共有や地域関係者の顔の見える関係づくりを行った。

(B) 個別支援概要 (新規相談件数)



個別支援の概要としては「孤立・見守り」「ひきこもり」といった相談があった。「障がい」相談から相談者の親である「高齢者」の居場所相談にも繋がった。次年度もCSWの周知活動を継続し、個別課題を把握できるよう地域住民の方への広報、ネットワーク形成をはかっていく。

②第4次北区地域福祉活動計画・重点項目に基づく活動

(ア) 地域ごとの連携を進めるためのコーディネート機能の強化

～ネットワークの場がコーディネート機能をもつための働きかけ～

これまでは地域活動団体が他団体や機関と連携、協働する場面において、CSWがパイプ役となりコーディネートを行ってきたが、令和5年度の神谷・東十条地区ではCSWが団体間情報共有の「場づくり」として、サロン交流会を実施したことにより、CSWが多く介入せずとも団体間が連携、協働できるようになってきた。神谷・東十条地区にてコロナ禍前より地域活動団体同士が各々の取り組みを共有し、関係を構築する「場づくり」をCSWが積極的に起こってきた。継続的な場を持つことで地域活動団体間の関係形成が進み、「社会資源とつながりを得ることで団体の活動の幅が増える」とCSWが「啓発」することで、サロン交流会にて共有された社会資源を積極的に取り入れようと団体がコーディネート機能も担い協働する場面が多くなってきた。

具体的には、サロン活動の参加者をより多角的に見守るために、ほかのサロン活動につなげた事例も出てきた。日程や参加する時間帯の調整、送迎のサポートの必要性の確認も団体間でおこなった。エリア内のケアマネジャーも連携している活動であるため、専門職の力も借りながら現在も地域で参加者の見守りを行っている。

CSWによる「継続した団体間の意見交換の場作り」により、団体自身がコーディネート機能を担い団体間が連携、協働する場面が増えた一年間であった。

(イ) 分野ごとの連携を深め、分野・セクターを超えた新たな連携を進める

(B) 分野ごとの連携を深め、分野・セクターを超えた新たな連携を進める

～田端地区で活動する分野を超えた団体・機関のニーズ把握と関係形成(田端・中里地区編)～

田端地区にて活動する分野・セクターを超えた団体・機関との関係形成を目的とした場づくりとして「田端のふくし懇談会」を実施した。分野を超えた多様な関係者の参加にむけて、事前に個別訪問などを通じて関係形成を行い、懇談会の目的と理解と開催の必要性を伝え、田端地区についての情報交換、関係形成を行った。その結果、乳幼児の親子居場所づくりを行う地域活動団体、児童館、スクールコーディネーター、老人保健施設、高齢者あんしんセンター、民生委員・児童委員、町会自治会長、地域で孤立予防の居場所運営を行う団体、訪問看護ステーション、個人事業主(ライター)等が参加。

今回の懇談会において、これまでつながりが希薄であった関係者が田端地区の強み(社会資源)と課題について意見を出し合い、分野を超えてつながるきっかけが得られ、その結果として、地域住民のウォーキングコースである老人保健施設の道路側の敷地に、訪問看護ステーションと高齢者あんしんセンターが連携し、誰でも座れる地域ベンチを設置することが実現。そのほか、スクールコーディネーターと高齢者あんしんセンターが小学校で福祉の授業実施の検討するなどの連携が深まった。また、地域のボランティア活動団体に地域住民であるライターが繋がり、活動のチラシ作りを一緒に行うなど、分野・セクターを超えた新たな連携を進める機会となった。

(ウ) 住民同士がささえあう仕組みづくり

～親亡き後の子ども世帯に対しての見守り支援～

児童館職員から母親が亡くなった世帯の子どもたちの様子が心配ということで子ども食堂を利用をしていた児童。

本人は小学校低学年、父・兄弟3人と生活。継続的に子ども食堂に参加しており、児童館や小学校と情報共有をしつつ見守りを行っていた。しかし、5年度に入り父親も亡くなり子どものみの世帯になったことから子ども家庭支援センターと福祉事務所を中心に支援体制を再構築。

CSWは子ども食堂が本世帯にどのように関わってきたのかを子ども家庭支援センター等に共有し、ケース会議にも子ども食堂のメンバーに参加いただけるよう働きかけた。また、関係機関が新たな住居確保の支援を実施。その間、子ども食堂のメンバーが子ども食堂の活動や食糧支援の訪問を通して、本人だけではなく兄弟の様子も把握し、見守りを継続。転居準備の期間においても本人たちの変化があった際は連絡を行い専門職が都度関われる体制をつくることができた。公的な支援機関と地域で活動している子ども食堂が強みを活かし、連携することができた。

(5) 第1層生活支援コーディネーター事業（北区より委託）（8,625千円）

北区全域を対象とする第1層の生活支援コーディネーターとして、行政担当者、各地域包括支援センターに配置されている第2層の生活支援コーディネーターと共に、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート業務を行った。

①地域の社会資源把握に関すること

内容	開催日	内容詳細
2層コーディネーター 一取材・FBにて広報	5/10	【北区体制整備事業活動報告】西が丘園エリア編
	6/3	【北区体制整備事業活動報告】王子光照苑エリア編
	6/15	【北区体制整備事業活動報告】みずべの苑エリア編
	6/30	【北区体制整備事業活動報告】十条エリア編
	7/31	【北区体制整備事業活動報告】浮間エリア編
	8/15	【北区体制整備事業活動報告】飛鳥晴山苑エリア編
	8/29	【北区体制整備事業活動報告】SC研修編
	9/19	【北区体制整備事業活動報告】十条台エリア編
	11/20	【北区体制整備事業活動報告】飛鳥晴山苑エリア編
	11/30	【北区体制整備事業活動報告】男性の居場所編
	12/27	【北区体制整備事業活動報告】新町光陽苑エリア編
3/1	【北区体制整備事業活動報告】みずべの苑エリア編	

②生活支援の担い手養成、サービス開発に関すること

圏域名	活動名または地域名	支援日及び内容
みずべの苑	志茂ジェネ協議会 (協議体)	協議体開催日：4/24、7/24、9/21 ・顔合わせ・情報共有 ・Hey and room 取り組み報告・0円マーケットについて ・男性の居場所プロジェクト検討 10/4・志茂一「防災力をつけてイケオジになろう」イベント 3/19・志茂二「防災力をつけてイケオジになろう」イベント
	しもぞうハウス常設 拠点についての打ち 合わせ	4/4・Hey and room の件をちいさなさかなの会と打ち合わせ 4/27・しもぞう縁側プロジェクト活動日 6/28・しもぞうハウス交流会（北社協主催） 1/29・しもぞうハウス交流会（北社協主催）

	志茂四あゆみの会 (協議体)	協議体開催日：4/20 ・5月広報イベントについての検討 協議体イベント日：5/28 ・見守りの会広報イベント
赤羽北・桐ヶ 丘やまぶき 荘	赤北マルシェ	マルシェ開催：5/18、9/2、3/21 ・第2層のコーディネーターへの後方支援(当日支援)
	赤北さんさんミーテ ィング(協議体)	協議体開催日：4/7、6/16、8/4、9/2、1/19 ・年間予定の確認 ・販売・居場所のブラッシュアップについて2つに分 かれてのグループワーク ・出張赤北マルシェについての打合せ ・広報の協力について ・学生の受け入れについて ・住宅課への働きかけについて 9/2・出張赤北マルシェ開催(大橋病院) 11/20・今後の動き打合せ 12/21・地域販売おためし開催・日程打合せ 1/29・学生・住宅課への働きかけについて打合せ 2/21・赤羽北シルバーピアとの意見交換 3/7・スマサポと赤北マルシェマッチング相談 3/15・住宅課との情報交換
王子光照苑	サロン活動紹介・説 明会	事前打合せ：4/12 ・赤羽ベーゴマクラブ顔合わせ 開催日：4/26 ・活動紹介・説明会参加
	マップ作りプロジェ クト	7/13・マップ作り
	伴走支援	9/4・研究所との打合せ同席 10/13・研究所との打合せ同席 12/15、18・アイセイ薬局ヒアリング調査協力 1/23・研究所との打合せ同席 3/22・研究所との打合せ同席
赤羽	伴走支援	9/4・研究所との打合せ同席 11/2・住民との意見交換参加 11/7・住民との意見交換振り返り・次回について会議 12/13・2月の懇談会に向けての打合せ 1/31・2月懇談会に向けての打ち合わせ 2/14・みんなの居場所づくり座談会 3/8・みんなの居場所づくり座談会②

豊島	カムカムとよご男子プロジェクト (協議体)	<p>事前打合せ：4/25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月開催に向けての打合せ <p>協議体準備打合せ：4/25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師(ゆる〜いおっさんの会)との打合せ(つなぎ) <p>協議体開催日：5/23、5/30、7/11、7/21、8/29、10/3、12/7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆる〜いおっさんの会とトークセッション(後方支援) ・今後の活動についての座談会(話題提供) ・キャラクター打合せ(後方支援) ・Tシャツデザイン打合せ(後方支援) ・男塾(男性勉強会)開催(後方支援) ・グループワーク ・来年度の計画
	豊島6、7丁目住民懇談会	11/30・おたがいさまの街づくり懇談会
浮間	協議体づくり準備	<p>6/28・協議体の方向に向けての打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携して行うイベントについて打合せ <p>9/20・イベント打合せ</p> <p>11/15・浮間・赤北協議体開催</p> <p>2/21・協議体開催 今後取り組んでいくテーマ検討</p>
飛鳥晴山苑	ちょこっと相談窓口 たちあげ相談	<p>事前打合せ：4/11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区境エリアである豊島区社協との打合せ <p>開催日：5/19、7/21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊島区SCとの共同開催訪問(SC後方支援) ・活動状況訪問・取材
	自主グループ立ち上げ支援	4/26・滝野川体育館周辺エリア新サロン立ち上げ相談
桐ヶ丘やまぶき荘	メガシティ自治会	5/23・東洋大学・メガシティ交流会(スマホ講座を見据えた動き)
	桐ヶ丘団地西地区エリアおしゃべり会 (協議体)	<p>12/5・内容・グループ分けなど下打合せ</p> <p>12/22・おしゃべり会開催</p> <p>1/12・話し合う内容について打合せ</p>
	桐活(協議体)	<p>6/6・協議体今後の方向性についての打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐活(協議体)開催日：6/20、7/24 ・今後の協議体の在り方打合せ ・無理せず開催できるお祭りについて
西が丘園	15サロン	8/3・サロンの今後の方向性についての打合せ
	赤羽北桜高校との連携	10/13・赤羽北桜高校とシニアクラブの交流イベント

新町光陽苑	男性の居場所づくり 打合せ（後に伴走支援）	7/6・レコードをツールにした居場所についての打合せ 2/27・打合せ会②
	シニアクラブ交流会	7/28・シニアクラブ交流の体制づくりの打合せ（後方支援）
昭和町・堀船	伴走支援 「堀船3丁目都住エリア」	9/5・研究所との打合せ同席 9/22・堀船3丁目とくし丸販売日訪問 10/17・研究所との打合せ同席 11/28・研究所との打合せ同席
	ほりさんひろば	2/6・立ち上げ相談同席
滝野川西	伴走支援	10/23・今年度の取り組みについての打合せ
十条台	伴走支援 「男性の居場所づくり」	11/24・社会資源ツアー同行 3/29・食事会イベント後方支援
十条	板橋区境エリアとの 地域会議	12/2・麻雀を中心とした居場所についての話し合い。 区境連携会議
	伴走支援	2/9・伴走支援食事会イベント
その他 （北区全域）	認知症すごろくを使った地域の広がり	5/11・王子圏域に情報共有 5/21・認知症すごろく体験会参加 5/23・（株）ユーアイデザインより情報提供 6/7・長寿支援課と打合せ 6/8・認知症すごろく研修講師依頼 6/23・赤羽台認知症すごろくを使ったイベント運営サポート 7/28・介護予防リーダーの会より問い合わせ・相談対応 9/15・介護予防リーダーの会での開催支援（普及啓発） 9/26・今後の方向性について長寿支援課と打合せ 12/12・東洋大学生（ぼどのわ）へ広報
その他 （東洋大学との連携）	ボランティア支援室との連携	4/25・今後の連携についての打合せ（赤羽圏域と連動） 5/26・学部との連携についての打ち合わせ（赤羽圏域と連動） 6/3・ボランティア支援室開所イベント参加（学生との連携） 2/1・1Dayプログラムについての依頼
	1年生に向けての社会資源紹介	5/9・授業内での社会資源紹介

	藤林先生より活動の提言	6/13・藤林ゼミの学生と連携をした活動の提言 8/21・実務者レベル会議で長寿支援課と共有 11/28・授業協力 12/6・今後についての打ち合わせ
その他 (長寿支援課との連携)	担い手づくり講演会	8/13・担い手づくり講演会講師打合せ 9/13・担い手づくり講演会事前打合せ 9/14・担い手づくり講演会講師打合せ 9/20・担い手づくり講演会 「定年後、何をやる？俺の自分探し講座」話題提供

③地域包括ケア連絡会（2層協議体）及び地域ケア個別会議に関すること

地域包括ケア連絡会

【圏域主催】

圏域	連絡会開催日	内容（役割）
王子	10/24	孤立課題×前期高齢者。孤立困難事例をもとに、事前にどのような対応ができたか検討。自分の立場でできることの意見交換を行う
赤羽	12/23	7/11・地域×大学連携イベント開催 12/23・東洋大学との連携を3か年計画で行ってきた報告と、今後の合同イベントを地域と学生共同で企画会議を行う。
滝野川	11/15	つながりの場×多職種。昨年度の地域包括ケア連絡会や地域課題の共有から生まれたつながりから、「地域のベンチ」「商店街での販売」に発展した。その事例をもとに、地域で連携してできることについて意見交換を行う。

【高齢者あんしんセンター主催地域包括ケア連絡会】

地域	連絡会開催日	内容
王子光照苑	6/20	災害についてのネットワーク会議
みずべの苑	7/5	災害・男性の居場所などの地域課題について

【高齢者あんしんセンター主催地域包括ケア個別会議】

地域	連絡会開催日	内容
浮間	11/27	中途障がいの男性の外出機会について。社会資源や他エリアの事例紹介
赤羽	3/14	自宅の階段を一人で降りるのが不安な方の孤立解消について

【おたがいさま地域創生会議】

会議名	開催日	内容
おたがいさま地域創生会議	7/25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 層 SC 事業計画 ・ 2 層 地域包括ケア連絡会計画 ・ 「地域の徒歩圏内で行ける居場所」について意見交換（事例：飛鳥晴山苑エリア）
	3/18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 層 SC 事業報告 ・ 2 層 3 圏域地域包括ケア連絡会報告

④定例会議における情報交換、打合せ、検討

会議名	開催日	内容
生活支援体制整備事業連絡会	4/18、6/20、8/29 10/26、11/21、2/29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画説明 ・ 情報共有 ・ 令和 5 年度研修会について ・ 自己評価チェック票について ・ 研修振り返り ・ 業務量 PT 経過報告 ・ 自己評価チェック票中間報告会 ・ 年度末提出書類説明 ・ 来年度計画
王子圏域見守りコーディネーター会議	4/13、5/11、6/8、 7/20、8/10、9/14 10/12、11/9、1/11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア連絡会について ・ テーマ決め ・ 圏域同士の情報共有、地域課題の共有 ・ 連絡会でのツール共有（認知症すごろく） ・ 事例検討 ・ グループワークの内容検討 ・ 開催後振り返り ・ 伴走支援についての情報共有・意見交換
赤羽圏域見守りコーディネーター連絡会	4/21、5/19、6/16 7/11、7/21、8/18 10/20、11/17、 12/15、1/19、2/16、 3/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケア連絡会について ・ 東洋大学ボランティア支援室との連携について ・ 学生との交流イベントについての計画 ・ 学部との連携についての打ち合わせ ・ 大学生×地域サロン共有イベント ・ 報告会・連絡会 GW 内容検討 ・ 今後に向けての話し合い

滝野川圏域見守りコーディネーター連絡会	4/27、5/25、6/22 7/27、8/24、9/28、 12/14、1/25、2/22	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の会議の持ち方の打合せ ・地域包括ケア連絡会について ・テーマ決め ・事例検討 ・参加団体について打合せ ・開催後振り返り ・豊島区ベンチプロジェクトの事例紹介 ・今後ベンチプロジェクトをどのように推進していくかの情報交換 ・来年度について打合せ
実務者レベル会議 (毎月第3月曜日)	4/10、6/12、8/21 10/12、11/13、 1/15、2/19、3/11	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業の今後の方向性について ・令和5年度計画について ・高齢福祉課も含めた打合せについて ・講演会・研修について ・来年度打合せ
生活支援体制整備事業に関わる情報交換会	5/18、1/16	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都エリア区市町村＋第1層 SC 情報交換
介護予防事業所連絡会	5/25、2/29	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度計画情報共有 ・令和5年度活動報告 ・出てこない層へのアプローチ方法の検討
長寿支援課・高齢福祉課・社協での情報交換会	5/25、6/12、7/7、 8/21、11/13、 12/13、1/15、2/22、 3/12	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の持ち方検討 ・おたがいさま地域創生会議内容打合せ ・今後の協議体について ・業務量 PT 途中経過報告 ・下半期おたがいさま地域創生会議について ・来年度提出書類の確認 ・今後のおたがいさま地域創生会議についての意見交換 ・地域課題抽出会議 ・協働して取り組むテーマの絞り込み

⑤社協からの働きかけによる取組み

仕様書の実施内容における、ア. 資源調査、イ. 資源開発、ウ. ネットワーク構築、エ. ニーズと取組みのマッチング、オ. 協議体に関わる取組みとして他事業との連携で実施

取組み事業名	開催日	内容
業務量検討PT	6/14、7/27、8/31 9/27、10/6、11/7、 12/12、12/28、1/25、	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性についての意見交換 ・今後の進め方打合せ ・案作成・必要な項目のすり合わせ ・サロン・会議の入力について議論 ・自己評価チェック票の作成について ・提出書類について ・マニュアル作成 ・変更事項の修正
担い手づくり体験会	10/23	6/26・協力者打合せ 9/11・プレ体験会 10/23・体験会実施
アートルリップ体験会	10/10（飛鳥晴山苑） 10/17（豊島）	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人アーツアライブ主催の孤立予防事業 飛鳥晴山苑・豊島で行っているサロン対象に体験会を開催。飛鳥晴山苑はサロンで継続。
自己評価チェック票 フォローアップ	11/9	中間報告会に参加できない新町光陽苑、新規の滝野川西合同で、中間振り返りや下半期の予定作成を行った。
3圏域リーダー会議	1/10、2/29	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降の地域包括ケア連絡会、おたがいさま地域創生会議についての意見交換 ・おたがいさま地域創生会議報告事項すり合わせ ・課題抽出会議報告

⑥生活支援コーディネーター研修実施に関すること

開催日	研修名・講師	内容
8/8	認知症すごろくの広がりを学ぼう 水戸市東部高齢者支援センター 講師 日高友紀子氏 峯島みどり氏	水戸市が作成した「認知症すごろく」の体験会を行い、地域課題を住民を巻き込みながら推進していく広がりについて学ぶ。研修参加者54名
9/20	担い手づくり講演会 講師 戸田千登美氏（長野県長寿社会開発センター）	・高齢男性の活動推進を目的に開催 地域活動紹介・体験会の紹介
1/17	住民とともに行う活動をあらためて考える 岡村美花氏（武蔵村山市社協） 永沢 映氏（コミュニティビジネスサポートセンター）	・以前包括支援センターで直営していたサロンを数年かけて自主化に向けての話し合いをしていった事例をもとに、「住民主体」「協議体」について考えるきっかけとする。

3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費 15,923 千円、人件費 13,614 千円)

(1) 友愛ホームサービス事業

(20,429 千円)

①友愛ホームサービス

地域の高齢者や障がいのある方などを対象に、日常生活の簡単な手伝いをする住民参加型の有償在宅福祉サービスである。地域の方がサポートスタッフとして登録し、指定の研修を受講した後、家事や外出付き添いなどのサービスを行う。

【利用料】 900 円/時間 【年会費】 1,500 円

ア. 会員登録状況

A. サポートスタッフ (年代別内訳)

区分	~30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	昨年度	差異
男性	0	2	3	5	4	3	17	14	3
女性	3	12	28	34	40	6	123	124	△1
合計	3	14	31	39	44	9	140	138	2
昨年度	3	14	35	36	43	7	138		
差異	0	0	△4	3	1	2	2		

※3年に1度の更新があったため、サポートスタッフの減少があった。

B. - (a) 利用会員 (年代別内訳)

区分	~30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	昨年度	差異
男性	0	1	2	9	27	29	11	79	72	7
女性	0	2	3	6	42	94	35	182	184	△2
合計	0	3	5	15	69	123	46	261	256	5
昨年度	1	3	7	18	68	119	40	256		
差異	△1	0	△2	△3	1	4	6	5		

B. - (b) 利用会員 (対象別内訳)

区分	高齢者	障がい			その他	合計
		身体	知的	精神		
人数	247	5	2	4	3	261
昨年度	236	8	4	7	1	256
差異	11	△3	△2	△3	2	5

イ. 会員活動状況

A. 年間活動状況

区 分		令和 5 年度	令和 4 年度	差異
サポートスタッフ	年間活動数 (人)	777	750	27
利用会員	新規利用数 (世帯)	75	56	19
	年間利用数 (世帯)	1,469	1,483	△14
利用延べ回数 (回)		3,962	4,219	△ 257
活動 (利用) 時間 (時間)		5507:00	5952:00	△445 : 00

B. 年間収支状況

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	差異
年会費 (円)	453,000	444,000	9,000
うち高齢者生活援助サービス (円)	253,500	244,500	9,000
利用料等 (円)	4,967,120	5,366,308	△ 399,188
うち高齢者生活援助サービス (円)	1,870,800	1,944,200	△ 73,400
費用弁償等 (円)	4,967,120	5,366,308	△ 399,188

※高齢者生活援助サービス・・・介護認定を受けており且つ住民税の課税状況が非課税または生活保護世帯の利用会員

C. 年間入会状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
新規入会(人)	8	4	2	6	11	11	6	10	8	2	7	0	75	56	19
うち高齢者生活援助サービス対象者(人)	5	2	1	5	4	4	3	3	3	1	3	0	34	31	3

D. 年間利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
利用世帯数	120	121	122	112	116	113	124	130	131	124	131	125	1,469	1,483	△14
延べ活動数	335	346	345	310	305	290	354	341	347	315	324	350	3,962	4,219	△257
総活動・利用時間	473	506	484	423	431	410	506	472	483	420	431	468	5,507	5,952	△445
サポートスタッフ活動人数(人)	63	63	65	62	63	61	67	68	69	66	69	61	777	750	27

D. 年間利用状況

内容	令和5年度 (件)	構成比 (%)	令和4年度 (件)	差異 (件)
外出付添	256	4.3	348	△ 92
通院付添	275	4.7	295	△ 20
入退院支援	1	0.0	7	△ 6
入院中生活支援	0	0.0	0	0
家事援助	4,785	81.3	5,372	△ 587
その他 (車取り、大掃除、引っ越しの手伝いなど)	569	9.7	614	△ 45
合計	5,886	100.0	6,636	△ 750

ウ. 研修会・交流会

研修会・交流会名	内 容	開催日	参加者数
サポートスタッフ 養成研修	◇北区社会福祉協議会と友愛ホームサービス ◇高齢者の理解と支援 ◇車いす研修	6/26 12/11	12
	◇先輩サポートスタッフからの話 ◇リスクマネジメント ◇記録と報告	6/26 12/11	
サポートスタッフ ステップアップ 研修	「狙われる高齢者／高齢者の見守り」 協力：消費生活センター	7/26	22
	認知症サポーター養成講座講座 協力：十条台高齢者あんしんセンター	1/25	16
	あんしん居住制度について ～もしものとき備えるために～ 講師：公益財団法人 東京都防災・建築まちづくりセンター (権利・友愛・ガイド合同研修)	3/11	20

エ. 運営委員会

開催日	議 題	委員数 (人)
10/27	(1) 事業報告 ①令和4年度事業報告 ②令和5年度現況報告	11
	(2) ちょこっとささえ愛サービス運営課題とあり方について	
	(3) その他	
開催日	議 題	委員数 (人)
2/13	(1) 事業報告 ①令和5年度現況報告 ②令和6年度事業計画案	11
	(2) ちょこっとささえ愛サービスの要綱改正について	
	(3) 来年度について	
	(4) その他	

オ. 職員研修・連絡会

研修名	開催日
住民参加型たすけあい活動部会コーディネーター学習会	10/17
城北ブロック在宅福祉サービス事業連絡会	12/13
東京都在宅福祉サービス事業連絡会 第1回連絡協議会	2/16

カ. 新型コロナウイルス感染症の動向と本事業の体制

今年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」であったが、令和5年5月8日から「5類感染症」に引き下げとなった。マスク着用などが個人の判断に委ねられ、活動・行動制限も徐々に緩和している。

昨年度の運営委員会のご意見をもとに、今年度は7月に「利用者募集」も再開した。きたふくしと北区ニュースに「利用者募集」の記事を掲載し、電話で多くのお問合せをいただき、新規利用者も増加した。

②ちょこっとささえあいサービス

ア. 会員登録状況

A. ちょこっとスタッフ

今年度から、ちょこっとささえあいサービスと友愛ホームサービスのスタッフを兼任とすることにしたため、友愛ホームサービスのサポートスタッフと登録人数が同数となる。

B. 年間利用状況

(件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
利用	0	1	4	4	1	0	1	1	1	1	0	0	14	15	△1

C. 提供したサービス（重複あり）

内容	件数(件)	構成比(%)	昨年度	差異
電球・蛍光灯の取替え	1	7.0%	2	△1
軽易な家具の移動	0	0.0%	1	△1
体調不良時の買い物代行	4	29.0%	10	△6
かんたんな家具の組み立て	0	0.0%	0	0
かんたんな家電の配線	1	7.0%	0	1
他サービス利用までのつなぎ等の理由による掃除	1	7.0%	0	1
その他（ごみ捨て、不用品整理、退院支援など）	7	50.0%	2	5
合計	14	100.0%	15	△1

(2) その他の在宅福祉事業 (9,108千円)

①ハンディキャブ運行事業

ア. 事業内容

A. ハンディキャブ（ワゴン車2台・軽ワゴン車1台）の運行及び貸し出し

イ. 実績

A. 年間利用件数

区分	令和5年度		令和4年度	
	合計	月平均	合計	月平均
利用件数 (件)	85	7.1	84	7.0
走行距離 (km)	6,300	525	5,184	432

B. ハンディキャブ会員

財源確保のため、本事業の独自会員制度を設置し利用者(会員)から会費を徴収

年会費 (円)	令和5年度		令和4年度	
	利用会員数 (人)	金額 (円)	利用会員数 (人)	金額 (円)
2,000	13	26,000	22	44,000

② 車イス貸出事業

ア. 事業内容

A. 車イスの無料貸出（1年間を限度）

B. 地域の拠点での貸出し（ぷらっとほーむ）

イ. 実績

A. 保有台数 45台 (令和6年3月31日現在)

ウ. 年間貸出件数 126 (件)

区分	令和5年度		令和4年度	
	合計	平均/月	合計	平均/月
予約件数	176	14.6	170	14.1
貸出件数	154	12.8	140	11.6
貸出台数	172	14.3	147	12.2

③ 車イスステーション事業

身近な生活圏で無料で車イスを借りることができるように、歳末たすけあい募金を財源として車イスを購入し、町会自治会や公共施設、商店等を「車イスステーション」として区民の利便性向上に努めている。

ア. 拠点数と台数

(台)

No.	区 分	令和5年度		令和4年度	
		設置箇所数	車イス台数	設置箇所数	車イス台数
1	町会自治会	139	221	136	227
2	地域振興室	18	26	18	27
3	福祉施設等	9	15	9	13
4	その他(商店等)	11	14	9	13
5	高齢者あんしんセンター	12	30	12	30
	合 計	189	306	184	310

イ. 車イスステーションへの訪問

車イスのメンテナンスや利用状況の確認を行いながら、地域の福祉課題の発掘や地域情報収集を行う。

No.	訪問地域	訪問日
1	豊島・堀船	5/10
2	赤羽西・西が丘・赤羽・赤北	5/31
3	東田端・西ヶ原・中里	11/13
4	赤羽北・浮間	11/15
5	滝野川・西ヶ原	12/15
6	十条	2/21
7	志茂・田端新町	2/28
8	王子	3/6
9	桐ヶ丘・赤羽台	3/14
10	東十条・神谷	3/27

④ 紙おむつ支給事業

介護保険の認定を受けた方で、要支援・要介護度1~3の方および急遽入院され、常時紙おむつが必要な方に対して3カ月を限度に、歳末たすけあい募金を財源として紙おむつを支給する。

ア. 支給件数

(件)

	令和5年度	令和4年度
件数	381	344

イ. 支給枚数

(枚)

おむつタイプ	令和5年度	令和4年度
テープパンツ型	2,973	2,917
はくパンツ型	59,110	55,082
尿取りパッド	65,556	55,200
合 計	127,639	113,199

⑤ 財産保全サービス事業

高齢者、知的障がい者、精神障がい者のひとり暮らし世帯または対象者のみの世帯の方が安心して生活を続けていけるよう、保有する財産（預金通帳等）を金融機関の貸金庫に保管するサービス（年間利用料12,000円）を実施する。

なお、本事業は令和5年度末をもって廃止する。

(ア) 相談援助実績

(件)

項目	件数	内訳			
		高齢	知的	精神	その他
a. 問い合わせ件数	3	0	1	0	0
b. 初回相談件数	2	1	0	1	0
c. 相談援助件数	1	0	1	0	0
合計（件数）	6	1	2	1	0
相談援助時間（分）	40	5	25	10	0

(イ) 契約実績

今年度の契約実績はなし

4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業

(事務事業費1,081千円、人件費11,400千円)

(1) 地域福祉・ボランティア活動推進事業 (12,481千円)

① 地域ささえあい活動団体助成 詳細は「5. 助成事業」に別掲

令和5年度は、コロナ禍で活動を自粛していた団体の活動再開により、昨年度と比較して助成金の申請件数が11件、金額にして280,500円増加した。申請団体は全体的には高齢者を対象としたサロンや介護予防体操等を行う団体が多いが、コロナ禍でも人との繋がりを絶やさず、様々な世代との繋がりを重視し、子どもから高齢者まで多世代で交流を図る子ども食堂や子どもの居場所づくり等をする団体からの申請が増えている。

前期	令和5年度		令和4年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
・地域福祉活動助成	82	3,604,000	71	3,266,500
・障がい当事者団体助成	15	726,000	14	699,000
・団体立ち上げ助成(地域福祉活動助成と併願)	5	206,000	6	290,000
・夢ひろげ助成	0	0	0	0
合計	102	4,536,000	91	4,255,500

② 地域ささえあい活動団体支援

地域活動推進員5名(内3名は神谷・東十条地域、桐ヶ丘地域、田端地域のアシスタントワーカーを兼務)が登録団体(地域ささえあい活動団体)への支援などを行った。

ア. 地域ささえあい活動団体の現況(登録団体一覧)

No.	団体名	活動エリア	活動内容
1	EQ(一休)スマイル	赤羽	笑いヨガ・脳ケアゲーム・箸タイム・サルサ体操
2	NPO法人 クレセール心の相談室	赤羽	障がい児童・生徒の居場所作り、社会適応能力訓練
3	NPO法人 彩結び	赤羽	多世代交流カフェの運営、講座の開催
4	TENゴスペルクワイア	赤羽	年齢問わず子連れでも参加できるゴスペル
5	アクアフレンズ	赤羽	水中ウォーキング・チェアーエクササイズ
6	エッセイ作文の会	赤羽	エッセイ作りをとおした仲間づくり
7	カスミソウ～自由登校を見守る会～	赤羽	学校に行きづらい子どもと親の交流等
8	きたきつねの会	赤羽	保育園・高齢者施設などでの絵本の読み聞かせ
9	きたくコミュニティ・つむぐわ	赤羽	親子を中心とした多世代の学ぶ場、体験する場作り
10	TOY BOX	赤羽	子どもと一緒に楽しむイベント・講座の企画
11	きりがく	赤羽	桐ヶ丘地域の子どものための学習支援と居場所づくり
12	コスモスの会	赤羽	麻雀、手芸、カードゲーム等誰でも参加可能な活動
13	コミュニティーカフェ「ドリーム」	赤羽	茶話会・友達作り・その他地域活動
14	サークルタイム	赤羽	楽しい英語のレッスンと親子のリフレッシュ
15	ステップ	赤羽	交流会・親子体操
16	ちいさなさかなの会	赤羽	布絵本作りをツールに、地域社会へ貢献
17	デフさくらの会	赤羽	高齢聴覚障がい者交流会
18	のらねこハウスよろず相談室	赤羽	福祉・生活・労働相談など、よろず相談
19	スマイルV	赤羽	体力維持のため、各種体操、街歩き活動など
20	フライデークラブ	赤羽	病気を予防し生きる喜びを得て地域の人々につながる活動
21	プリムラ ファミリー	赤羽	手話ダンス
22	ふれあい会	赤羽	ピアノ伴奏でのコーラス
23	ほっとカフェ	赤羽	誰もが集まれる地域のたまり場
24	ほほ笑みサロン	赤羽	体操・脳トレ・歌・カラオケ・レクリエーション
25	ミニデイホーム さくら	赤羽	食事会と身近で津軽三味線を楽しむコンサート
26	ユウユウ国際交流会	赤羽	英語・中国語に親しみながら他国の人と仲良くなる活動
27	よさこい赤羽桜舞	赤羽	よさこい踊りを楽しみ、イベント参加、施設訪問
28	ララちゃんのおうち	赤羽	多世代交流、地域商店街活性化、子育て支援
29	リズムと自然あそび "ピッピ"	赤羽	親子交流会・体操・四季の工作・自然遊び

30	りぷりんと北・あおいとり	赤羽	絵本読み聞かせ活動
31	りぷりんと北・すまいる北	赤羽	絵本読み聞かせ
32	王子狐のミュージカルの会	赤羽	地域行事、合唱祭、狐の行列への参加
33	喫茶室「虹」	赤羽	お気軽にどなたでも立寄れるカフェ
34	桐ヶ丘ほほえみ会	赤羽	脳トレ 認知症予防
35	桐ヶ丘交流サロン	赤羽	指遊び・クイズ・歌・体操と楽しいサロン
36	傾聴クラブ レインボー	赤羽	北区内の高齢者施設等での傾聴活動
37	四季の会	赤羽	介護予防の為に楽しく北区さくら体操、ご近所体操他
38	笑いクラブ スマイル赤羽	赤羽	笑いの広場の提供。子どもひろばへのボランティア参加
39	城北囲碁クラブ	赤羽	囲碁対局、講師による囲碁講座・指導、囲碁旅行等
40	神谷フレンズの会	赤羽	気軽なおしゃべり・筋トレ体操・手芸や折り紙他
41	神谷虹の会	赤羽	配食、食事会
42	神谷堀公園ハイツふれあい会	赤羽	健康体操、落語、演芸、琴、尺八、カラオケ、麻雀、折り紙等
43	西が丘桜クラブ	赤羽	介護予防体操ご近所 桜 握力強化 口、頭の体操
44	赤羽ベーゴマクラブ	赤羽	ベーゴマ大会、ベーゴマ遊び等
45	赤羽自主夜間中学「一歩ずつの会」	赤羽	学び直しや日本語習得の方に向け教場を開いている
46	赤羽自然観察公園ピオトープの会	赤羽	公園内の池でホタルが育つ環境作りと観察会を予定
47	赤羽太極拳	赤羽	呼吸・体感の調和と手足の方向角度を学び優雅に活動
48	草の根国際交流の会・コアラサークル	赤羽	イベントを行って外国籍親子の交流の場を作る
49	中国茶 水仙の会	赤羽	中国茶の粋な淹れ方を学び、香りとコクを楽しむ
50	鶴よ鶴よ	赤羽	体操・脳トレ・折り紙・盆踊・唄・ゲーム
51	浮しまカフェ	赤羽	認知症の方を地域で支える『ほっと一息カフェ』
52	浮間UHクラブ	赤羽	週1回 らくらく体操、おしゃべり会
53	北フォルクローレ実行委員会	赤羽	若者フォークダンス運動・青少年の健全育成
54	北園結の会蕎麦倶楽部	赤羽	そば打ちを通じての地域交流
55	北区コミュニケーション・モア	赤羽	セミナー、親睦会、手話学習など
56	北区地域見守りささえあい	赤羽	ふれあい喫茶、映画会他
57	北三友の会	赤羽	食事会
58	北赤羽健康麻将同好会	赤羽	マナーを大切に1日楽しく愉快的健康麻将
59	北部福祉倶楽部	赤羽	福祉に関わる学習会を開催
60	NPO・ACT北区たすけあいワーカーズひよこ	王子	訪問介護事業、障がい福祉サービス事業、自立援助サービス事業
61	NPO法人 スマイリーサン	王子	障がい児者のためのサロン・プール・運動会・講習会
62	NPO法人 子育てママ応援塾「ほっこり〜の」	王子	子育てママと「社会」をつなぐ、地域共助の拠点
63	NPO法人でんでん子ども応援隊	王子	学習支援、生涯学習、子育て支援、子ども支援
64	NPO法人市民後見☆北ネット	王子	後見受任と出前講座やセミナー開催、相談活動など
65	unfeuilleあんふいーゆ	王子	プリザーブド フラワーアレンジ
66	カモミールの会	王子	アロマでコミュニケーション
67	きらきら太極拳	王子	太極拳
68	こども食堂 エール	王子	週2回おいしい食事を提供
69	サロン・サンサン	王子	親睦や元気作り(お茶会・体操・ゲーム・歌など)
70	サンハイツ 俳句会	王子	月一回の句会を実施と句報の発行
71	すまい・地域づくりの会	王子	地域で最期まで生活し続けられる地域すまいづくり
72	ダイヤビック北	王子	いつも元気で明るく楽しく健康づくり
73	ツインズタイム	王子	多胎家族の仲間作り(お話し会、食事会、講演会他)
74	でこぼこキッズ 親の会 グラン・ブーケ	王子	発達しょうがい児とその家族の交流、講座、例会
75	てとでの会	王子	コミュニケーションスキルを学ぶ月1回の勉強会
76	パーキンソン病友の会北区支部	王子	会報発行・月例会パーキンソン病に関する情報提供
77	ファンキーモンキーズ	王子	ダンス好きなキッズが楽しくダンスをする活動
78	フラ ハイビスカス	王子	フラダンスをととした健康と仲間づくり
79	ほのぼの会	王子	食事会・年に一度は外出・健康体操・健康チェック
80	ボランティアグループ アミークス	王子	袋物・カード入れ毛糸小物等生活雑貨の制作
81	ボランティアグループ こだま	王子	楽しく手芸を作り販売しボランティアに役立てる活動
82	ママカフェ ひろば	王子	産後のママ・妊婦相談受付、育児伝承、ヨガ、講座
83	みんなで楽しむけん玉教室	王子	月1回第3日曜日の午後 けん玉教室を開催

84	ゆったりくらぶ	王子	使用済切手整理しながらコミュニケーションを図る活動
85	よみきかせの会たんぽぽ	王子	絵本の読み聞かせ・語り・わらべうたでのおはなし会
86	ロコクラブ	王子	子どもたちの宿題や自主学習を支援する活動
87	英語にふれよう	王子	親子で楽しく英語に親しむ活動
88	街なかふくし・だんだん東十条	王子	カフェ、お楽しみ企画
89	王子五丁目団地 俳句の会	王子	俳句をとおした交流
90	傾聴クラブ あすか	王子	北区内の高齢者施設等での傾聴活動
91	傾聴クラブ こあら	王子	北区内の高齢者施設等での傾聴活動
92	傾聴クラブ さんさん	王子	北区内の高齢者施設等での傾聴活動
93	傾聴クラブ てんてん	王子	北区内の高齢者施設等での傾聴活動
94	傾聴クラブ ひびき	王子	北区内の高齢者施設等での傾聴活動
95	傾聴クラブ「ハッピー」	王子	北区内の高齢者施設等での傾聴活動
96	混声合唱団 SAKURA	王子	月4回指導者の元で合唱練習、出張演奏、合唱祭等
97	子ども教室「あうら」	王子	家で一人で居ないで一緒に勉強したり遊ぶ活動の場づくり
98	子ども食堂「ののはな」	王子	子ども食堂・学習支援
99	子育て教室	王子	医師歯科医・臨床心理士などによる連続講座の実施
100	紙芝居サークルきたきた座	王子	紙芝居の楽しさを届ける活動
101	上五のぞみ会	王子	食事会・配食
102	神谷・東十条健康プラザ	王子	サロン、居場所、カラオケ、読書会他
103	大人サークル スキップ	王子	大人でパレエストレッチ
104	点訳グループ六星会	王子	北視協・春光・都障害者スポーツセンター他の点訳
105	点訳サークル六星会(福祉センタークラス)	王子	広報誌の点訳等
106	土筆の会	王子	高齢者の親睦と健康の維持向上を図る為の健康体操
107	東京北区ケンハモサークル	王子	鍵盤ハーモニカで様々な曲を出張演奏
108	東京北卓球パレー同好会	王子	ユニバーサルスポーツ卓球パレーを楽しみ交流する活動
109	東十条サンハイツ将棋同好会	王子	月1回開催される将棋定例会を通しての多世代交流
110	当事者の会 はるじおん	王子	作品集「雑草魂」発行及び外出イベント、茶話会等
111	特定非営利活動法人 アドリブ	王子	北区の歴史・昔話に因んだ紙芝居を作成する活動
112	脳トレを楽しむ会	王子	脳トレ 認知症予防
113	飛鳥山太極拳愛好会	王子	毎朝ストレッチ体操・太極拳。地域の活動に参加
114	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	王子	不登校・ひきこもりの家族会「赤羽会」家族懇談会
115	豊島のうたごえひろば	王子	うたごえサロン
116	豊島健康サロン	王子	健康麻雀、食事会、交流
117	北区えほんのさくら会	王子	絵本を通じて心豊かになることを願って活動
118	北区さわやかボニークラブ	王子	乗馬による身体的・知的障害の機能向上と回復
119	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	王子	子どもの居場所・プレーパーク
120	北区介護予防リーダーの会	王子	あんしんセンター支援・「おたっしや21」等開催
121	北区肢体不自由児者父母の会	王子	学習会、親睦会、施設見学、啓発活動等
122	名主の滝さくら会	王子	筋トレ、ストレッチ、お口体操、コグニサイズ等
123	明るく唄う友の会	王子	毎週木曜日に東十条三丁目会館に集まり歌う活動
124	遊悠クラブ	王子	介護予防につながる運動をメインとする活動
125	王子神谷健康クラブ	王子	ゲーム(健康麻雀、他)、茶話会など
126	M・G研究会	滝野川	手品で地域住民とのコミュニケーションを図る活動
127	BLOSSOMS	滝野川	子育て世代を中心に歌を楽しむ活動
128	NPO法人 勉強レストランそうなんだ！！	滝野川	知的障がい者に対する学習支援や居場所の提供
129	コミークラブ	滝野川	交流会(茶話会、レクリエーション)
130	さかえ・で・サロン	滝野川	高齢者を対象としたレクリエーション
131	シャベレーズ	滝野川	おはなし会等を通じ、乳幼児親子の支援
132	ソリテマンドリンクラブ	滝野川	依頼によるボランティア演奏
133	ねこの手	滝野川	木のおもちゃサロン、音楽を楽しむ会やお話会など
134	ぱ・ど・あーるダンスクラブ	滝野川	社交ダンスの練習会
135	はあとほっとゼミ	滝野川	オンライン ママゼミとおしゃべりカフェ
136	べっら・べる	滝野川	ハンドベル演奏
137	りぷりんと北・北話会	滝野川	絵本の読み聞かせを通じての社会参加、世代間交流

138	りゅうのすけくん茶論	滝野川	サロン縁じょい田端駅商店街(谷田橋サロン)運営
139	一般社団法人「COCOROごはん」	滝野川	滝野川地域での子育て支援・子どもの居場所づくり
140	快眠ヨガの会	滝野川	簡単なヨガを通じての健康と生きがいづくり
141	筋力アップ友の会	滝野川	ストレッチ、脳トレ等でコミュニケーションを図る
142	健康カーレットクラブ田端	滝野川	カーレット競技
143	飛鳥会家族会	滝野川	困る事を話し合い・支え合い社会資源の上手な活用
144	薬(ひこばえ)	滝野川	参加者と交流しながらのおはなし会
145	NPO法人 ねこのみみ	全域	飼い主のいない猫を減らす為の地域猫活動
146	NPO法人 銀の鈴交流ネット	全域	ふれあい訪問活動
147	おもひでチューズデー	全域	昭和歌謡の演奏を通してお年寄りを元気にする活動
148	おもひでロマンチカ	全域	高齢者対象のイベントやサークルでの演奏と講演
149	きたく健やかWKの会	全域	ウォーキングを主体に筋トレ及び脳トレを行う
150	こころとからだの元気Lab.	全域	アロマテラピー、ハンドタッチング、ボランティア
151	ツインズエイド	全域	多胎児の家族への支援活動
152	パステルこっこん	全域	パステル画の出前講座等
153	へいへいと遊ぼう！in北区	全域	声優による絵本読み聞かせ&言語聴覚士の発達相談
154	ボランティア ひまわりクラブ	全域	訪問美容など
155	井戸端げんきのわ	全域	高齢・障がい者・関係者向け出張講座
156	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクトJAF	全域	防災に関するイベント、セミナー、ワークショップ
157	王子がん哲学外来	全域	がん患者に寄り添い分かち合うメディカルカフェ
158	絵本読み聞かせの会 カスタネット	全域	絵本読み聞かせ
159	親子支援グループそらいろの種	全域	保育支援・出張一時保育・チャリティーコンサート
160	日本歌謡斉唱会	全域	施設・団体への訪問 おたのしみ歌謡 元気作り
161	認定NPO法人 ことばの道案内	全域	最寄りの駅等から目的の施設までをことばで道案内
162	北区おはなしの会	全域	おはなし会・講座等

イ. 地域ささえあい活動交流会、支援講座等

No.	事業名	開催日	参加人数	内容
1	ささえあい交流会	10/17	54	団体同士の悩みや工夫していることについて意見交換を図り、交流を深めるための会合
2	第15回ささえあいフェスタ	2/24	約600	地域での仲間づくりや孤立予防などを目的に活動している団体・関係者の活動発表とネットワークづくりイベント

③おちゃのこ祭祭

ア. 活動内容

令和6年度に5年ぶりに区内全域を対象に実施するにあたり、令和4年度に実施した小規模の良さも取り入れつつ、よりネットワークを強固にするために参加団体がおちゃのこ祭祭にどのようなことを期待するのか把握する機会として、交流会を実施した。

No.	事業名	開催日	参加人数	内容
1	おちゃのこ祭祭 交流会2023	10/28	19団体24名	・おちゃのこ祭祭コンセプト共有 ・グループワーク (団体間がつながるためにんな事ができるか意見交換)

④ボランティア保険の取り扱い

区分	令和5年度		令和4年度	
	取扱件数(件)	取扱人数(人)	取扱件数(件)	取扱人数(人)
ボランティア保険	301	4,530	254	4,243
行事保険	83	2,510	54	2,169
行事保険(当日参加対応型)	38	1,291	42	1,097

* NPO法人東京都北区市民活動推進機構に受付業務委託

5. 助成事業サービス区分関連事業

(事務事業費 67千円、助成金支出5,681千円)

(1) 地域ささえあい活動団体助成事業 (4,598千円)

歳末たすけあい募金の地域福祉配分金(前年度の歳末たすけあい・地域福祉募金)を財源に、以下の①～④の助成を行う。

① <区分1> 地域ささえあい活動団体助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
 - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
 - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
 - ・ 自主財源の確保が可能
 - ・ 北区内での年間の活動回数が10回(後期は5回)以上である
 - ・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体
 - ・ 北社協団体会員

※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 A、会場費 B、講師料 C、広報費 D、物品購入費

(ウ) 助成限度額 前期：助成項目A～D合わせて上限5万円

後期： " 上限3万円

(エ) 令和5年度助成団体

前期助成団体

No.	団 体 名	主な対象者	助成額
1	赤羽太極拳	高齢者	50,000
2	赤羽ペーゴマクラブ	誰でも	50,000
3	飛鳥山太極拳愛好会	誰でも	50,000
4	EQ(一休)スマイル	誰でも	50,000
5	いきいきサークル絵手紙を楽しむ会	誰でも	30,000
6	英語にふれよう	誰でも	37,000
7	エッセイ作文の会	誰でも	50,000
8	NPO法人アドリブ	誰でも	50,000
9	絵本読みきかせの会 カスタネット	誰でも	50,000
10	M・G研究会	高齢者	50,000
11	王子五丁目団地俳句の会	誰でも	50,000
12	おもひでチューズデー	高齢者	50,000
13	おもひでロマンチカ	高齢者	50,000
14	快眠ヨガの会	高齢者	50,000
15	カスミノウ-自由登校を見守る会-	誰でも	50,000
16	神谷ストレッチクラブ	誰でも	50,000
17	神谷・東十条健康プラザ	誰でも	50,000
18	神谷フレンズの会	誰でも	30,000
19	カモミールの会	誰でも	50,000
20	北区えほんのさくら会	誰でも	50,000
21	北区介護予防リーダーの会	高齢者	50,000
22	北区コミュニケーション・モア	高齢者、障がい者	50,000
23	きたくコミュニティ・つむぐわ	誰でも	50,000
24	きたく健やかWKの会	高齢者	30,000
25	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	誰でも	50,000
26	きらきら太極拳	誰でも	50,000
27	傾聴クラブこあら	誰でも	50,000
28	傾聴クラブさんさん	高齢者	50,000
29	傾聴クラブてんてん	誰でも	15,000
30	傾聴クラブ「ハッピー」	高齢者、障がい者	50,000
31	こころとからだの元気Lab.	誰でも	50,000
32	子育て教室	高齢者、子ども	50,000
33	コミークラブ	高齢者	50,000
34	混声合唱団SAKURA	誰でも	50,000
35	サークルタイム	保護者、子ども	50,000

36	さかえ・で・サロン	高齢者	40,000	
37	サロン・サンサン	誰でも	50,000	
38	四季の会	高齢者	50,000	
39	シャペレーズ	保護者、子ども	20,000	
40	城北囲碁クラブ	誰でも	50,000	
41	すまい・地域づくりの会	誰でも	50,000	
42	中国茶 水仙の会	誰でも	50,000	
43	ツインズタイム	多胎児とその家族等、子ども	40,000	
44	土筆の会	誰でも	50,000	
45	鶴よ鶴よ	高齢者	20,000	
46	TENゴスペルクワイア	誰でも	50,000	
47	東京北区ケンハモサークル	誰でも	50,000	
48	特定非営利活動法人 彩結び	誰でも	50,000	
49	特定非営利活動法人ねこのみみ	誰でも	50,000	
50	豊島のうたごえひろば	高齢者	30,000	
51	名主の滝さくら会	高齢者	30,000	
52	西が丘桜クラブ	高齢者	50,000	
53	ねこの手	誰でも	50,000	
54	のらねこハウスよろず相談室	誰でも	40,000	
55	東十条サンハイツ将棋同好会	誰でも	50,000	
56	ファンキーモンキーズ	子ども	50,000	
57	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	不登校、引きこもりの当事者、その家族	50,000	
58	へいへいとあそぼう！in北区	子ども、保護者	50,000	
59	ボランティアひまわりクラブ	高齢者、障がい者	50,000	
60	街なかふくし・だんだん東十条	誰でも	50,000	
61	ママカフェひろば	子ども(1歳まで)、母親、妊婦	50,000	
62	みんなで楽しくけん玉教室	誰でも	15,000	
63	よさこい赤羽桜舞	誰でも	50,000	
64	リズムと自然遊び‘ピッピ’	子ども	50,000	
65	りぷりんと北・あおとり	高齢者、子ども	50,000	
66	りぷりんと北・すまいる北	誰でも	50,000	
67	りぷりんと北・北話会	誰でも	50,000	
68	りゅうのすけくん茶論	誰でも	34,000	
69	ロコクラブ	子ども	49,000	
70	笑いクラブスマイル赤羽	誰でも	30,000	
71	北区地域見守りささえあい(R5新規)	誰でも	50,000	
72	コスモスの会(R5新規)	高齢者	50,000	
73	こども食堂エール(R5新規)	誰でも	50,000	
74	ちいさなさかなの会(R5新規)	誰でも	20,000	
75	北部福祉倶楽部(R5新規)	高齢者	30,000	
76	きたきつねの会(R5新規)	高齢者、子ども	50,000	
77	きりがく(R5新規)	子ども	5,000	
78	フライデークラブ(R5新規)	高齢者	39,000	
			合計金額(円)	3,484,000
			件数(件)	78

後期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額	
1	スマイルV(R5新規)	高齢者	30,000	
2	子ども教室「あうら」(R5新規)	誰でも	30,000	
3	親子支援グループそらいろの種	子ども	30,000	
4	BLOSSOMS	子育て世代	30,000	
			合計金額(円)	120,000
			件数(件)	4

令和5年度(前・後期合計)	3,604,000円	82件
令和4年度(前・後期合計)	3,266,500円	74件

② 〈区分II〉 障がい当事者団体助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
 - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
 - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
 - ・ 身体、知的、精神の障がい等の当事者（北区在住）10名以上が会員で、かつ会則を制定している団体
 - ・ 本会の団体会員になっている団体
- ※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 年中行事を含む事業費

(ウ) 助成限度額 上限5万円

(エ) 令和5年度助成団体

前期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額
1	NPO法人 スマイリーサン	誰でも	50,000
2	北区さわやかボニークラブ	障がい者	50,000
3	北区視覚障害者福祉協会	障がい者	50,000
4	北区肢体不自由児者父母の会	障がい者保護者 障がい者	50,000
5	北区失語症友の会	障がい者	50,000
6	北区聴覚障害者協会	障がい者	50,000
7	さざなみ会	障がい者	50,000
8	ソフトラクロス インドア同好会	障がい者	50,000
9	でこぼこキッズ親の会 グラン・ブーケ	障がい者	50,000
10	デフさくらの会	障がい者 高齢者	49,000
11	東京北卓球バレー同好会	障がい者	50,000
12	当事者の会「はるじおん」	障がい者	50,000
13	ふうせんクラブ	障がい者	50,000
14	ゆりかもめの会	障がい者	50,000
合計金額 (円)			699,000
件数 (件)			14

後期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額
1	パーキンソン病友の会 北区支部	高齢者・障がい者	27,000
合計金額 (円)			27,000
件数 (件)			1

令和5年度 (前・後期合計)	726,000円	15件
令和4年度 (前・後期合計)	699,000円	14件

③ 〈区分III〉 団体立上げ助成

(ア) 助成対象

- ・ 区分I「地域ささえあい活動団体」または区分II「障がい当事者団体」の条件に該当する団体。ただし過去に歳末たすけあい・地域福祉募金助成において助成金をうけている団体は対象外とする。

(イ) 助成項目 A、広報費
B、物品購入費

(ウ) 助成限度額 助成項目A～B合わせて上限5万円

(エ) 令和5年度助成団体

前期助成団体

No.	団体名	他助成併願	助成額
1	きたきつねの会(R5新規)	I 地域ささえあい活動助成	50,000
2	きりがく(R5新規)	I 地域ささえあい活動助成	50,000
3	フライデークラブ(R5新規)	I 地域ささえあい活動助成	6,000
4	フラ ハイビスカス(R5新規)		50,000
合計金額 (円)			156,000
件数 (件)			4

後期助成団体

No.	団 体 名	他助成併類	助成額
1	子ども教室「あうら」	I 地域ささえあい活動助成	50,000
		合計金額 (円)	50,000
		件数 (件)	1

令和5年度 (前・後期合計)	206,000円	5件
令和4年度 (前・後期合計)	290,000円	6件

④ (区分Ⅳ) 夢ひろげ助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
 - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
 - ・ 北区内において、参加者・スタッフともにメンバーを固定せずに、オープンな活動を行っている団体

- ・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体
- ・ 本会の会員になっている団体

※上記すべての項目に該当すること

- (イ) 助成対象事業
- ・ 先駆的、実験的、事業や他のモデルとなるような企画で、その事業に対する準備費、開発費、実践経費
 - ・ 地域福祉に関する調査、研究活動に対する経費、情報収集した事例集の発行経費

(ウ) 助成限度額 上限50万円

(エ) 令和5年度助成団体

No.	団 体 名	助成額
1	申請なし	
		合計金額 (円) 0
		件数 (件) 0

審査

東京都共同募金会北地区配分推せん委員会にて行う

開催日	出席者数(人)	付議内容
6/19	16	・ 委員長の選任 ・ 令和4年度 歳末たすけあい募金 助成事業実績報告 ・ 令和5年度 歳末たすけあい募金 前期助成金申請内容の審査
10/23	16	・ 副委員長の選任 ・ 令和5年度 歳末たすけあい募金 後期助成金申請内容の審査

令和6年度助成事業説明・相談会

開催日	会 場	内 容	参加団体数
2/29	岸町ふれあい館	令和6年度助成事業説明	35
3/5	岸町ふれあい館	令和6年度助成事業説明	23

(2) 子ども・若者応援基金助成事業(1,150千円)

項目	区分	令和5年度 (円)	令和4年度 (円)
原資寄付	収入	12,000	632,000
事業寄付	収入	1,769,219	1,293,457
助成金支出	支出	1,145,600	209,597
基金運営費	支出	258,716	462,384

6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業

(事務事業費1,203千円、人件費10,971千円、分担金18千円)

【事業内容】

高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が、自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスを適切に利用する権利を擁護することを目的として、下記の援助を実施する。

① 福祉サービスの利用援助

ア. 福祉サービスについての情報提供、助言

イ. 福祉サービスを利用し、又は利用をやめるために必要な手続き

ウ. 福祉サービスの利用料を支払う手続き

エ. 福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続き

オ. 日常生活支援サービス（福祉サービスの適切な利用のため必要な一連の援助）

② 日常的金銭管理サービス

ア. 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き

イ. 税金、社会保険料、公共料金、医療費、家賃等の支払い手続き

ウ. 日常生活に必要な預貯金の払戻し、預け入れ、解約の手続き

③ 書類等の預かりサービス

金融機関の貸金庫にて、年金証書、預貯金通帳、権利証、契約書類等を保管

【実績】

④ 相談援助実績

(件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	昨年度 実績
ア. 初回相談・問合わせ件数	404	32	45	65	613	613
イ. 相談援助件数	4,499	861	1,003	704	7,067	3,253
合計	4,903	893	1,048	769	7,680	3,866

(注) ア・・・制度の一般的な問合わせ、具体的な事例を伴った初回の相談

イ・・・2回目以降の相談援助及び既契約者への相談援助

⑤ 契約実績

(件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
ア. 令和5年度当初契約件数	26	10	7	5	48
イ. 新規契約件数	10	1	2	2	15
ウ. 解約件数	11	0	1	2	14
年度末契約件数(ア+イ-ウ)	25	11	8	5	49

参考（過去5年間の契約件数推移）

(人)

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年度当初利用者数	55	46	39	42	40
契約者数	10	16	16	8	9
解約者数	17	7	9	11	7
年度末利用者数	48	55	46	39	42

⑥ 生活支援員

ア. 生活支援員数

ボランティア活動経験者等の一般区民から生活支援員を採用し、利用者支援を実施。

(人)

令和5年度当初数	18
新規契約者	15
年度末退職者	0

イ. 生活支援員研修会等の実施、参加

(人)

No.	研修名	日程	内容	参加者数
1	北社協生活支援員事務連絡会	6/9	今年度の職員等体制、担当について・地域福祉権利擁護事業実施状況・事務連絡（ヘルメット着用について）	22
2	北社協生活支援員研修会	9/27	地域の社会資源、制度を知ろう	20
3	城北ブロック生活支援員研修会	1/31	生活支援員としての心がけ	20
4	北社協生活支援員研修会・連絡会	3/11	あんしん居住制度について・来年度契約書類等の説明	17

7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業

(事務事業費8,512千円、人件費41,939千円)

(1) 権利擁護センター「あんしん北」事業(18,967千円)

福祉サービス利用、成年後見制度の利用、権利擁護に関わる相談及び福祉サービス利用に際しての苦情に総合的に対応する。

① 総合相談事業

- ア. 一般相談 高齢者や障がい者の権利擁護に関わる一般的な相談
- イ. 専門相談 一般相談のうち、法律的な対応が必要な場合等、法律・福祉・生活に関する一体的な専門相談(毎月第1、3水曜日午後、予約制で実施)
- ウ. 苦情相談 福祉サービス利用に関する苦情相談

【実績】

ア. 一般相談(職員対応総数)

項目	件数(件)
相談・問合せ	577
継続相談	4,652
合計	5,229

参考(過去5年間の一般相談実績推移) (件)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談・問合せ	617	508	495	494	360
継続	6,552	6,915	4,462	3,899	4,152
合計	7,169	7,423	4,957	4,393	4,512

イ. 専門相談(弁護士等対応総数)

実施件数(件)	18
実施時間(分)	900

参考(過去5年間の専門相談実績推移) (件)

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	15	25	19	30	11

ウ. 相談援助総数 (件)

実施件数(ア+イ)	5,247
-----------	-------

参考(過去5年間の相談実績推移) (件)

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	7,184	7,448	4,976	4,423	4,523

エ. 初回相談の経路別相談件数(複数回答) (件)

区分	本人	親	子	配偶者	兄弟姉妹	親類	隣人・知人	ホームヘルパー	民生・児童委員	介護支援専門員	福祉施設	地域包括支援センター	医療機関	福祉事務所	行政(左記以外)	その他	合計
高齢者	58	1	80	9	18	32	14	0	1	46	8	84	24	3	4	27	409
知的障がい者	3	11	0	0	3	1	0	0	0	0	3	3	0	1	5	4	34
精神障がい者	22	6	0	1	5	1	0	0	0	1	4	2	0	1	4	7	54
その他	23	8	0	0	2	6	2	0	0	0	1	12	7	1	3	12	77
合計	106	26	80	10	28	40	16	0	1	47	16	101	31	6	16	50	574

オ. 初回相談内容の状況（複数回答）

(件)

区 分	福祉サービスの手続き	日常的金銭管理	書類等の預かり	保健サービスの手続き	医療に関する手続き	福祉サービスの苦情	今後の生活設計	本事業に関する問合せ	成年後見（任意後見）に関する問合せ	成年後見（法定後見）に関する問合せ	財産保全	消費契約	相続	財産侵害	虐待	遺言に関する問合せ	専門相談	その他	合計
高齢者	47	101	1	0	0	2	27	24	69	237	0	2	15	4	3	7	16	49	604
知的障がい者	5	9	0	0	0	2	0	3	1	19	0	0	2	0	0	0	2	5	48
精神障がい者	6	8	0	0	1	9	3	5	6	19	0	0	1	0	1	0	0	14	73
その他	7	10	0	0	0	6	4	6	9	31	0	2	2	1	1	2	4	24	109
合計	65	128	1	0	1	19	34	38	85	306	0	4	20	5	5	9	22	92	834

② 成年後見制度利用支援事業

【事業内容】

成年後見制度の利用が必要とされている高齢者、知的障がい者、精神障がい者などに対して、下記の援助を実施する。

- ・一般相談による成年後見制度についての説明・相談
- ・弁護士による専門相談
- ・弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等の関係団体の紹介
- ・講演会及び説明会等の実施
- ・利用者の成年後見制度利用に関する援助

【実績】

ア. 成年後見制度に関する相談の実績(延べ件数)

(件)

項 目	内 訳				合計	昨年度実績
	電話	来所	訪問	その他		
一般相談による説明・相談	2,470	215	256	288	3,229	2,275
弁護士による専門相談	1	10	0	0	11	6
合 計	2,471	225	256	288	3,240	2,281

イ. 相談援助実績(成年後見一般相談延べ件数)

(件)

項 目		認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神障が い者	その他	合計	昨年度 実績
初回相談	法定後見	237	19	19	31	306	328
	任意後見	39	0	3	1	43	46
相談援助件数		2,012	173	356	350	2,891	2,125
合 計		2,288	192	378	382	3,240	2,499

* 初回相談の法定後見と任意後見の内訳は複数回答による集計のため重複あり

ウ. 講演会の実施

(人)

No.	講座名	対象	内 容	開催日	参加者数
1	老い支度①「遺言」のイロハ～書き方から手続きまで～	区民一般	遺言の講習と実際に書いてみるにはどうするか	11/20	83
2	老い支度②「認知症に伴う法的問題（法定後見制度）」	区民一般	成年後見制度の概要、老後の資金管理		
3	老い支度③「初めてのエンディングノートの書き方講座」	区民一般	エンディングノートの書き方のポイント、活用方法		
4	老い支度④「任意後見制度で将来に備えよう」	区民一般	任意後見制度のあらまし、契約方法、任意後見人の業務	11/29	109
5	老い支度⑤「いまさら聞けない老人ホームの基礎知識」	区民一般	老人ホームの基礎知識		
6	老い支度⑥「健康寿命を延ばしてよりよい老後を迎えよう」	区民一般	心身ともに自立し、活動できるポイント講座・実践		
7	福祉従事者向け成年後見制度説明会（基礎編）	区内福祉従事者	成年後見制度の概要、申立方法、後見人の業務など	8/28	20
8	福祉従事者向け成年後見制度説明会（応用編）	区内福祉従事者	後見人等の活動、実務、福祉職と後見人の連携	10/2	20

エ. 職員による出張説明等の実施

権利擁護センターの事業等を区民や関係機関の方々に周知し、利用者の掘り起こしを行うため職員が施設等に出向き説明等を実施。

(人)

No.	集会名	対象	内容	開催日	参加数
1	成年後見制度のABC（ピアネット北）	区民一般	成年後見制度の概要	6/15	16
2	若葉福祉園	保護者	成年後見制度	6/21	20
3	NPO法人飛鳥会	保護者	老い支度講座	7/22	12
4	王子地区民生委員・児童委員協議会	民生委員 児童委員	成年後見制度	10/29	20
5	なかいちサロン（中十条一丁目町会）	地域住民	老い支度、成年後見制度、エンディングノート	1/20 2/27 3/16	45
6	あすなる福祉園	保護者	成年後見制度	1/26	16

7	家族介護者教室（西が丘園包括）	地域住民	成年後見制度、コグニサイズ	1/29	25
8	ミニ老い支度講座（プラットフォーム滝野川東・王子光照苑包括）	地域住民	エンディングノート	2/6	10
9	UR神谷掘ハイツ	地域住民	あんしん北事業について	2/20	20

③ 苦情対応機関の設置

【事業内容】

福祉サービス利用に関する苦情に対する相談対応、苦情解決の実施

ア. 苦情相談受付

A. 対象別件数

(件)

項目	内訳				合計	昨年度実績
	高齢	知的	精神	その他		
a. 初回相談・問合せ件数	5	2	9	12	28	21
内訳	相談のみ件数	5	1	9	11	20
	苦情調整委員対応申立件数	0	1	0	1	1
b. 相談援助件数	13	38	137	13	201	70
合計	18	40	146	25	229	91
相談援助時間（分）	253	875	1,382	338	2,848	1,859

B. 苦情内容別件数（複数回答）

(件)

苦情内容別件数		内訳				合計
		高齢	知的	精神	その他	
福祉サービスに関する苦情	サービス内容	0	2	3	2	7
	職員の対応・態度	0	1	7	3	11
	責任者・法人の対応	0	2	2	2	6
	具体的な被害	0	0	0	2	2
	虐待・拘束	0	0	1	1	2
	事業運営全般（寄付強要等）	0	0	0	0	0
	契約不履行・説明不足等	0	0	0	0	0
	利用料負担	0	0	0	0	0
	事業所から利用者に対する苦情	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
権利侵害	相続問題	0	0	0	0	0
	財産侵害	0	0	0	0	0
	金銭・財産管理	0	0	0	0	0
	金銭トラブル（消費、契約問題）	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	0	1

C. 対応意向別件数（複数回答） (件)

苦情内容別件数	件数				合計
	高齢	知的	精神	その他	
福祉サービスに関する苦情 話を聞いてほしい	0	2	1	3	6
教えてほしい	0	0	3	2	5
調査してほしい	0	1	1	1	3
改善してほしい	0	1	4	2	7
仲裁してほしい	0	0	1	0	1
謝罪してほしい	0	0	0	0	0
弁償してほしい	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

イ. 苦情調整委員会議の実施

苦情調整委員に集まっていたき、担当ケースに関する課題共有などを行った

回	内容	開催日	参加者数
第1回	令和4年度の実績について、各委員対応ケースの共有	6/5	3
第2回	苦情対応研修実施報告、各委員対応ケースの共有について	2/1	2

ウ. 区内事業所向け苦情研修会の実施

区内福祉事業所・施設に対し、現場レベルでの苦情解決のための仕組みや体制づくりのための研修を行った (人)

講座名	対象	内容	開催日	参加者数
福祉施設等苦情対応研修①	苦情受付担当者	苦情対応の基礎	7/27	28
福祉施設等苦情対応研修②	苦情解決責任者	事業所の責任等	7/27	28

(2) 成年後見活用あんしん生活創造事業(17,672千円)

【事業内容】

成年後見人などに対する後見人等業務の支援などのため、下記の事業を実施する。

① 後見人等のサポート

- ア. 弁護士等による専門相談
- イ. 後見人等研修会の開催
- ウ. 後見人等連絡会の開催

② 地域ネットワークの活用

後見人等の業務や被後見人の生活を地域で支えるための地域ネットワークとして、関係機関等との情報交換や共同事業に取り組む。

③ 成年後見制度推進運営委員会の設置

本会の行う成年後見制度に関する事業の実施にあたり、事業運営方針等についての助言・指導等を行い、事業の適切な運営を確保する。

④ 社会貢献型後見人の養成

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業による講習修了者に対し、研修、実習、講演会、情報提供などにより、社会貢献型後見人の養成を行う。

⑤ 法人後見監督業務の取組み

東京都が行った社会貢献型後見人養成事業による講習修了者を後見人、当会が監督監督人としてモデル受任し、社会貢献型後見人に対する後見監督業務を行う。受任初年度は3か月に1回ごと、2年目以降は半年に1回ごとに書面と面接によって報告を受け、監督業務を遂行する。

⑥ 成年後見制度利用促進の取組み

成年後見制度の申立て段階における後見人等候補者とのマッチング及び後見方針立案支援として、成年後見制度利用促進検討会議を開催する。

【実績】

① 後見人等のサポート

ア. 弁護士等による専門相談の実績 (件)

項 目	件 数
法律家による専門相談	14

イ. 後見人等研修会の実施

(人)

講座名	対象	内容	開催日	参加者数
第1回親族後見人等勉強会	親族後見人の申立てを検討している等、法定後見人申立てを検討中の方	申立て書類の書き方	1/10	22
第2回親族後見人等勉強会	親族後見を開始もしくは開始予定の方	後見事務の方法と報告書の書き方	2/9	7

(ウ) 後見人等連絡会

成年後見人として活動している専門職との意見交換を行った。

日程	内容	参加者数
9/25	北区版後見人等候補者名簿について検討、成年後見制度利用促進検討会議の進め方について検討	12
1/9	成年後見制度利用促進検討会議の進め方について検討、社会貢献型後見人に関する取り組みについて検討	12

ア. 成年後見関係機関連絡会の開催

成年後見制度推進に関わる関係機関による連絡会を開催。

第1回：令和5年9月22日 午後2時～4時 オンライン開催

内容：東京都社会福祉協議会地域福祉部長の森純一氏より地域福祉権利擁護事業の概要と成年後見制度の推進についての説明、グループディスカッション

テーマ：地域での権利擁護支援～成年後見制度と日常生活自立支援事業

第2回：令和6年3月5日 午前10時～12時 オンライン開催

内容：総務省より発表の「身元保証等高齢者サポート事業の実態」について共有し、富永弁護士より身寄りのない方の支援～法的な立場から～、明理会中央総合病院医療相談室課長中山伸也氏より病院の事例、施設ケアマネージャー岩本有司氏より高齢者施設での事例発表。グループディスカッション。

テーマ：「身寄りのない方の支援～地域でできること～

出席団体 (計61団体のべ85人)
東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、東京パブリック法律事務所、リーガルサポート東京支部北荒川地区、ぱあとなあ東京、北区社会福祉士会、東京税理士会王子支部、東京都行政書士会北支部、東京都社会保険労務士会北支部、市民後見☆北ネット、病院、障害者支援事業所、北区民生委員・児童委員協議会、北区高齢者あんしんセンター、東京都北区、北区社会福祉協議会、北社協成年後見推進運営委員会、東京都社会福祉協議会

イ. 地域ネットワーク関係機関との会合等

No.	会議名	内 容	開催日
1	城北ブロック権利擁護センター長会議	センター運営に関する意見交換	4/18
2	城北ブロック権利擁護センター連絡会	センター事業に関する意見交換	①6/12 ②9/29 ③12/14 ④3/15
3	北区高齢者あんしんセンター社会福祉士連絡会	R5年度新規事業に関する説明・報告	5/18
4	北区社会福祉士会シンポジウム (共催)	「地域共生社会の実現を目指し、北区の地域生活課題に取り組むために。」 ～地域福祉の視点から、地域包括ケア推進計画・認知症施策・権利擁護支援（成年後見制度）を考える～	3/1

③ 成年後見制度推進運営委員会（協議会）の設置

ア. 成年後見制度推進運営委員会（協議会）の開催

会 議	内 容	開催日	参加者数
第1回	令和4年度あんしん北事業報告と事業計画、社会貢献型後見人モデルケースの報告、北区版後見人等候補者名簿の作成について報告。	6/30	11
第2回	北区高齢者施設入居者調査、北区版後見人等候補者名簿の作成、後見人等連絡会、成年後見制度利用促検討会議、社会貢献型後見人の受任ケース、地域ネットワーク、広報啓発活動について報告。	10/4	11
第3回	社会貢献型後見人に関する取り組み、北区版後見人等候補者名簿の作成について、地域ネットワーク、広報啓発活動について報告。	12/15	8
第4回	地域における権利擁護事例報告、北区版後見人等候補者名簿の作成について、社会貢献型後見人ケースについて、地域ネットワーク、広報啓発活動について報告。	3/15	9

④ 社会貢献型後見人の養成、受任の準備と取組み

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業にともなう養成、研修の実施。

令和5年度登録者数：計5人

ア. 登録者面接

令和5年度は新規登録者なし。

イ. 養成研修

区による養成事業については検討中のため新規養成を行わず。

ウ. 登録者研修・連絡会等の開催

日程	内容	参加者数
12/4	社会貢献型後見人登録メンバー研修・交流会	3

⑤ 法人後見監督業務の取組み

ア. 後見監督業務の実施

モデルケース1・4の社会貢献型後見人に対する後見監督業務を行った。受任初年度は3か月に1回ごと、2年目以降は半年に1回ごとに書面と面接によって報告を受け、監督業務を遂行した。

モデルケース1（終了）

日程	内容
4/18	後見活動に関する監督の実施
4/27	家裁への監督事務報告書の提出
7/27	本人死去により終了

モデルケース2（令和元年中に終了）

モデルケース3（令和2年度中に終了）

モデルケース4

日程	内容
6/5	後見活動に関する監督の実施
6/14	家裁への監督事務報告書の提出
12/5	後見活動に関する監督の実施

(3) 成年後見活用あんしん生活創造事業（北区から受託）

(13,812千円)

①成年後見制度利用促進の取り組み

成年後見制度利用促進検討会議を実施し、制度を利用する本人が抱える課題や支援方針の検討、後見人等候補者となる専門職のマッチングを行った。福祉従事者向けに実施している困難ケース専門相談では、事業開始当初よりも相談件数が増加している。また、被後見人および後見人等への支援として、定期モニタリング会議を実施した。

(ア) 成年後見制度利用促進検討会議の実施

ケース：延べ72件

後見人候補者職種：弁護士19件、司法書士26件、社会福祉士25件、その他3件 *1件は複数候補者

本人の居住地：在宅38件、施設入所10件、病院24件

回	日にち	番号	居所	類型（見立て含む）	結果
1	4/11	1	病院	後見	司法書士
		2	在宅	後見	司法書士
		3	在宅	保佐	司法書士
2	4/25	4	在宅	後見	社会福祉士
		5	病院	後見	司法書士
3	5/9	6	病院	後見	社会福祉士
		7	病院	後見	弁護士
		8	在宅	未定	司法書士
4	5/23	9	施設	後見	社会福祉士
		10	在宅	未定	社会福祉士・弁護士
5	6/13	11	在宅	後見	社会福祉士
		12	在宅	後見	弁護士
		13	在宅	後見	社会福祉士
		14	病院	後見	司法書士
		15	施設	保佐	司法書士
6	6/27	16	在宅	後見	報告案件のため検討していない
		17	病院	後見	司法書士
		18	在宅	未定	司法書士
		19	病院	後見	社会福祉士
		20	在宅	未定	司法書士
7	7/11	21	在宅	補助	弁護士
		22	病院	後見	司法書士
		23	病院	後見	弁護士
8	7/25	24	在宅	補助	社会福祉士
		25	施設	保佐	司法書士
9	8/8	26	在宅	補助	弁護士
		27	在宅	後見	社会福祉士
		28	病院	保佐	司法書士
		29	施設	後見	社会福祉士

10	8/22	30	施設	後見	家裁一任
		31	在宅	保佐	司法書士
		32	在宅	保佐	保留
11	9/12	33	在宅	後見	弁護士
		34	在宅	後見	司法書士
		35	病院	後見	社会福祉士
		36	在宅	後見	社会福祉士
		37	在宅	後見	社会福祉士
		38	施設	補助	社会福祉士
		39	病院	後見	司法書士
12	9/26	40	病院	後見	弁護士
		41	病院	保佐	社会福祉士
		42	在宅	未定	司法書士
13	10/10	43	施設	後見	事務局一任→社会福祉士
		44	施設	後見	司法書士
		44	在宅	補助	弁護士
		46	在宅	後見	弁護士
14	10/24	47	施設	後見	弁護士
		48	病院	後見	弁護士
		49	病院	後見	社会福祉士
		50	病院	保佐	司法書士
15	11/14	51	病院	後見	弁護士
		52	在宅	後見	弁護士
		53	在宅	後見	社会福祉士
		54	病院	後見	司法書士
		55	在宅	補助	弁護士
16	11/28	56	在宅	保佐	社会福祉士
		57	病院	保佐	社会福祉士
17	12/12	58	施設	後見	弁護士
		59	在宅	保佐	社会福祉士
18	12/26	案件なく中止			
19	1/11	60	在宅	後見	弁護士
		61	在宅	未定	司法書士
20	1/23	62	在宅	後見	司法書士
		63	在宅	保佐	司法書士
21	2/13	64	病院	後見	弁護士
22	2/27	65	在宅	後見	社会福祉士
		66	在宅	後見	社会福祉士
		67	在宅	保佐	司法書士
		68	病院	保佐	司法書士
23	3/12	69	病院	後見	社会福祉士
		70	在宅	保佐	社会福祉士
24	3/26	71	在宅	後見	弁護士
		72	病院	後見	司法書士

(イ) 権利擁護困難ケース専門相談

	日時	専門職	相談者	内容
第1回	5/12	弁護士	包括	同居家族からの虐待ケース。入院中の病院が退院をすすめようとしている。どのように対応したらよいか。
第2回	9/16	社会福祉士	包括・ケアマネジャー	同居家族からの虐待ケースについて、申立てにより本人に危害なく成年後見制度を申立てる方策を聞きたい。
第3回	10/13	弁護士	包括・ケアマネジャー	保佐類型の成年後見制度申立てについて。本人を取り巻く関係者からの財産侵害疑いがあり、そのように進めてよいか。
		司法書士		
第4回	11/1	弁護士	ケアマネジャー	判断能力不十分な高齢者の権利擁護について（離婚調整・成年後見制度申立て・家族関係調整）をどのように進めたらよいか。
		社会福祉士		
第5回	1/24	司法書士	病院MSW	高齢女性についていこと甥が家族信託を検討しており、制度について聞きたい。

③定期モニタリング会議の実施

日程	日時	後見人等	専門職	内容
第1回	6/1	社会福祉士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。
第2回	9/7	社会福祉士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。
		社会福祉士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。
第3回	12/7	弁護士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。
		司法書士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。

第4回	3/14	社会福祉士 司法書士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。
		弁護士 社会福祉士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。
		司法書士	弁護士 司法書士 社会福祉士	後見人から状況報告、専門職からの助言を得てモニタリングとしては終了した。

8. 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業

(事務事業費1,144千円 人件費9,537千円)

視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業 (10,681千円)

【事業内容】

北区から居宅介護サービス支給量の決定を受けた視覚障がい者に対し、通院と同行援護の外出支援を実施する。

【実績】

① ガイドヘルパー登録状況 (人)

区分	30代	40代	50代	60代	70代	合計	令和5年度
男性	0	1	0	0	0	1	1
女性	0	0	4	16	11	31	31
合計	0	1	4	16	11	32	32

② 利用者登録状況 (人)

区分	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	令和5年度
男性	0	0	3	6	2	4	0	15	15
女性	0	0	5	2	5	5	0	17	20
合計	0	0	8	8	7	9	0	32	35

③ 実施状況

月	利用者数	ヘルパー実績	総活動時間	介護給付費収入額	利用者負担額		合計収入額
	(人)	(人)	(時間)	(円)	(件)	(円)	(円)
4月	30	26	405	815,803	8	22,445	838,248
5月	29	27	406	791,959	9	27,378	819,337
6月	31	28	436	861,537	8	25,291	886,828
7月	31	23	451	868,502	9	27,321	895,823
8月	32	23	320	668,327	9	30,256	698,583
9月	28	24	374	732,461	7	20,896	753,357
10月	29	25	458	884,781	9	18,784	903,565
11月	31	22	392	762,414	8	24,433	786,847
12月	27	20	374	721,857	9	25,958	747,815
1月	28	24	399	745,265	8	22,853	768,118
2月	27	24	368	697,523	8	17,583	715,106
3月	25	24	436	874,929	10	37,660	912,589
合計	348	290	4,819	9,425,358	102	300,858	9,726,216
月平均	29	24	401	785,447	9	25,072	810,518
4年度	370	314	5,502	10,726,099	109	375,712	11,101,811

④ 登録ガイドヘルパー研修会

	研修名	内容	開催日	参加人数(人)
第1回	ガイドヘルパー・友愛ホームサービス合同研修	消費生活センター「狙われる高齢者/高齢者の見守り」	7/26	5
第2回	ガイドヘルパー・友愛ホームサービス合同研修	認知症サポーター養成研修	1/25	2
第3回	ガイドヘルパー・権利擁護あんしん北・友愛ホームサービス合同研修	あんしん居住制度	3/11	15

9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業

(事務事業費 4,321 千円、人件費 33,788 千円)

(1) 生活困窮者自立支援センター事業（北区から受託）(38,109 千円)

① 事業内容

「北区くらしとしごと相談センター」の運営（平成 27 年 3 月～）

さまざまな理由により、現に生活に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方、将来的に生活困窮になるおそれがある方（以下、「生活困窮者」という）に対し、それぞれが抱える課題を整理し、状況に合わせた支援を、本人とともに考え、支援プランを作成し、寄り添いながら支援を行うことで、それぞれの状況に合わせた自立をめざし、生活の立て直しを図る。

また、生活困窮者の社会的孤立を防ぐため、地域の社会資源を開発するとともに地域住民への理解を広げる。

ア. 自立相談支援事業

- ・就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成
- ・訪問支援も含め生活保護にいたる前の段階から早期に支援
- ・地域ネットワークの強化など「地域づくり」も担う

イ. 住居確保給付金

- ・離職により住居を失った、またはその恐れが強い生活困窮者であって、所得が一定水準以下の方に対し、家賃相当の「住居確保給付金」(有期)を支給。

支給は原則 3 か月間とし、世帯の収入が回復しない場合、2 回の延長、最長 9 か月までの支給が認められている。

なお、支給は 1 回、最長 9 か月までとされており、原則として再支給は認められないが、令和 5 年 3 月 31 日改正により常用就職した後、解雇され尚且つ支給要件に該当すれば再支給が可能となった。

ウ. 家計相談支援事業

- ・家計収支等に関する課題の評価、分析と相談者の状況に応じた支援計画作成
- ・生活困窮者の家計の再建に向けたきめの細かい相談支援
- ・法テラス等関係機関へのつなぎや、必要に応じて貸付の斡旋

※「北区くらしとしごと相談センター」では、上記のア～ウのほか、就労支援及び就労準備支援事業を、株式会社パソナが北区から受託して行っており、同社と連携しながらセンター運営にあたっている。

エ. コロナ特例償還フォローアップ

- ・生活福祉資金担当と自立相談支援機関の相談支援員同席による定期面談で、猶予期間中の家計改善支援や猶予期間終了後の償還再開を支援する。支援にあたっては借受人自身が家計を把握し、生活再建の計画を立てられるよう伴走する。
- ・生活再建困難な状況が続く場合は、生活保護等へのつなぎ支援をおこなう。

② 相談・支援の実績

ア. 相談受付・申込・支援継続中の件数 (件)

No.	項目	令和5年度	令和4年度	備考
1	相談受付件数 (件)	930	1,200	
2	プラン策定件数 (件)	259	280	再プランを含む
3	プラン策定割合 (%)	27.8	23.3	プラン策定件数/相談受付件数

イ. 相談等延べ件数 (件)

No.	年度		
	項目	令和5年度	令和4年度
1	電話相談・連絡	4,668	5,212
2	メール	341	—
3	来所面談	1,748	2,846
4	訪問	111	67
5	同行	129	67
6	会議(カンファレンスなど)	42	—
合計		7,039	8,192
合計所要時間		2646.7 時間	

ウ. 相談内容内訳 (重複あり) (件)

No.	項目	令和5年度	令和4年度
1	病気、健康、障がい	2,211	1,355
2	住まい	1,370	2,325
3	収入・生活費	2,943	3,550
4	家賃・ローン支払	411	2,552
5	税金、公共料金支払	194	380
6	債務	441	590
7	仕事探し、就職	1,231	1,316
8	仕事上の不安、トラブル	229	629
9	地域との関係	61	38
10	家族との関係	470	436
11	子育て	122	101
12	介護	50	84
13	ひきこもり・不登校	151	140
14	DV・虐待	324	108
15	食べるものがない	331	246

16	医療・介護費支払	47	—
17	学費支払	33	—
18	貸付希望	76	—
19	住居確保給付金	608	—
20	食料等寄付	68	—
21	特例貸付関連	89	—
22	その他	138	704
	合計	11,598	14,554

エ. 住居確保給付金の相談・申請件数 (件)

		令和5年度	令和4年度	備考
1	相談・問い合わせ	608	1,356	
2	初回申請	16	57	
3	延長申請	15	46	延長、再延長を含む
4	再支給	4	22	

③ 支援調整会議

北区くらしとしごと相談センターの相談支援の利用を申し込んだ相談者へのアセスメントの結果、相談支援員は、それぞれの相談者個別のプランを作成する。支援調整会議は、作成された支援プランについて検討のうえ決定する場である。

コロナ禍では支援調整会議の開催が実施できなかったが、令和3年度から令和4年8月までは書面での開催をしてきた。令和4年9月より2ヵ月に1度、対面にて開催した。令和5年度については、従来通り月に1回対面にて会議を開催した。

(件)

	日時	新規支援	再プラン	支援終了	支援中断	備考
1	4/25	16	9	5	0	3/1~4/25 までにプラン作成・終了のケース
2	5/30	13	4	2	0	4/26~5/30 までにプラン作成・終了のケース
3	6/29	14	11	5	0	5/31~6/29 までにプラン作成・終了のケース
4	7/27	10	14	9	0	6/30~7/27 までにプラン作成・終了のケース
5	8/22	8	8	9	0	7/28~8/21 までにプラン作成・終了のケース
6	9/26	7	11	11	0	8/22~9/25 までにプラン作成・終了のケース
7	10/24	7	10	10	2	9/26~10/24 までにプラン作成・終了のケース

8	11/21	12	9	8	1	10/25～11/20 までにプラン作成・ 終結のケース
9	12/20	5	10	4	0	11/21～12/19 までにプラン作成・ 終結のケース
10	1/30	14	14	12	0	12/20～1/29 までにプラン作成・終 結のケース
11	2/27	11	9	8	0	1/30～2/26 までにプラン作成・終 結のケース
12	3/22	4	8	10	1	2/27～3/21 までにプラン作成・終 結のケース

④公開講座

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度より開催を見合わせていたが、令和4年度よりオンラインを取り入れ、令和5年度も2回開催した。8月に開催した1回目は感染者数が増えたこともありオンライン（ZOOM）で実施した。2回目は2月に感染症対策を講じ集合形式にて実施した。2回目については定員を上回る参加希望があった。

	講座名	内容	講師	日時	参加人数(人)
1	Let' s Start! ライフプランニ ングとお金の話 (オンライン開催)	若者向けの家計の管理 方法、貯蓄方法、資産 活用など	ライフシンフォ ニア 井上 美鈴氏	8/23 18～20時	14
2	現役のうちから 考える！ 定年退職後のお 金の話	定年退職後の生活設 計、収支の変化、資産 活用など	一般社団法人行 動アシストラボ 中森 順子氏	2/17 10～12時	37

⑤会議・見学等

生活困窮者自立支援を行うにあたり、関連団体、機関等との連携はきわめて重要である。さまざまな団体、機関との情報交換や連携を図るための会議出席、事業周知による連携機関、団体の開発、公民さまざまな機関、団体について情報を得ることでより充実した支援を行えるように努めてきた。

ア. 外部会議等への参加

No	会議名	開催日	内容
1	生活保護受給者等就労支援協議会	7/4	生活保護受給者、生活困窮者、ひとり親などの就労支援についての実績報告
2	ひきこもり関係課連絡会	8/25	ひきこもり、8050問題等の課題に対応する関係課による連絡会

3	ひきこもり関係課連絡会 係長会議	10/16	ひきこもりについての情報提供や「家族の 集い」相談員派遣などを協議する会議
4	ひきこもり支援プラットフォーム 会議	5/24、 1/29	北区が設置する、ひきこもりの方々の支援 の在り方と実施について、北区のひきこも り支援関係各課と北区内の家族会などの当 事者・支援団体がともに検討する会議
5	北区居住支援協議会	1/23	住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑 な入居の促進に関し、必要な支援について 協議する会議
6	社協における生活困窮者のあり方 検討会（全国社会福祉協議会）	11/20、 1/19 両日 ZOOM	社協における生活困窮者支援の実態や課題 を把握し、支援の強化や改善を図るための 方策等について検討する。
7	不登校・ひきこもりの自主家族 懇談会「赤羽会」	6/3、 2/10	北区くらしとしごと相談センターの紹介
8	東京都北区みんなの居場所 家族の集いにおける相談会	2/10	ひきこもりに関する個別相談
9	ねっとわーくまつり出展	5/21	北区くらしとしごと相談センターの紹介お よびフードドライブの実施

イ. カンファレンスなど

相談者の抱えている課題は多方面であり複雑化している事から、区役所関連部署をはじめ、弁護士や医師等の専門職との情報共有、連携が不可欠である。支援の方向性を検討するためカンファレンス等に参加・対応した。

⑥北区くらしとしごと相談センター事業に付随する取り組み

ア. 食料支援

北区くらしとしごと相談センターに来所された相談者で、食料を必要としている方に、地域住民や企業等からいただいた食料を配分している。食料の支援は、すぐに食べ物を必要とする相談者はもちろん、家計を立て直すために活用することもある。

食料は、フードドライブの実施、各家庭や企業、学校等からの直接のご寄付によって確保している。一時的に企業、個人からの寄付が減少し、寄付を希望する相談者の増加したため、配分食料の不足が生じた。そのため、きたふくしでの広報活動、全職員に食品寄付の呼びかけをおこない、ご寄付いただいたことで、食料を必要とする方にお渡しをすることができた。

A. 食品寄付受付件数

(件)

寄付者	令和5年度	令和4年度
個人からの寄付	169	148
企業・団体からの寄付	53	48
フードドライブ実施箇所	4箇所 27回	4箇所

B. 食料支援件数

(件)

食料支援件数	令和5年度	令和4年度
社協備蓄の食料 ※1	322	251
年末食料配布 ※2	0	0

※1 窓口配置の食料を持ち帰ったケースを除く、相談援助のうえでの食料支援件数。

※2 令和5年度、令和4年度とも、年末に寄付食料がなかったため実施なし

イ. 日用品支援

北区から預かった生理用品や区民からご寄付いただいた箱ティッシュ、石鹸など日用品についても分配した。

10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 3,337 千円、人件費 24,027 千円)

(1) 生活福祉資金貸付事務受託事業 (東京都社会福祉協議会から受託) (27,364 千円)

①生活福祉資金貸付事務受託事業

ア. 事業内容

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、無利子もしくは低利子での資金の貸付と、必要な相談援助を行うことで、世帯の経済的自立等を図ることにより安定した生活を送ることができるようにする。

イ. 実績

A. 年間貸付決定・相談件数

貸付資金区分	決定件数 (件)		相談件数 (件)	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
福祉資金(緊急小口資金を含む)	0	0	406	1,181(※)
教育支援資金(就学支度費含む)	2	2		
総合支援資金	0	0	129	93
不動産担保型生活支援資金	0	0	35	64
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	1	0	8	8
その他	0	0	54	335
合計	3	2	632	1,681

(※)新型コロナウイルスの感染症の影響による特例貸付については10.②緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付(東京都社会福祉協議会から受託)(p.75)のページを参照。

B. 貸付資金種別内訳及び貸付決定金額

貸付資金区分	資金種別	令和5年度		令和4年度	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
福祉資金		0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費のみ	0	0	0	0
	就学支度費のみ	0	0	1	288,000
	教育支援費+就学支度費 (うち就学支度費金額)	1	1,398,000 (240,000)	1	1,370,000 (200,000)
	小計	1	1,398,000	2	1,658,000
総合支援資金		0	0	0	0
不動産担保型生活支援資金		0	0	0	0
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金		1	200,000	0	0
合計		2	1,598,000	0	1,658,000

※上記は貸付が決定した金額。教育支援資金(就学支度費含む)は、分割での交付のため本人への交付金額とは異なる。

② 緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付フォローアップ事業（東京都社会福祉協議会から受託）

ア. 事業内容

令和2年3月25日から令和4年9月30日までの約2年6か月にわたり、新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金貸付事業の特例貸付の相談・申請受付業務を行った。

緊急小口資金と総合支援資金初回貸付については、令和4年2月より非課税世帯（借受人及び世帯主の住民税が非課税である世帯）を対象とした償還免除（判定免除）の申請受付が開始され、令和5年度については総合支援資金延長貸付の償還免除の判定が行われた（令和6年度には総合支援資金再貸付の償還免除判定が行われる）。

令和4年10月からは生活保護世帯や借受人が重度障害等で償還困難な世帯を対象とした償還免除（任意免除）の申請受付も開始され、償還免除の判定にて、償還免除とならなかった借入世帯については令和5年1月以降に順次償還開始となっているが、令和4年12月から借受人が失業中である、被災した、病気療養中等で償還困難な状況である場合は、償還猶予や少額返済の申請受付が開始されている。

原則として、特例貸付に係る償還業務は、東京都社会福祉協議会が電話相談により対応しているが、同所での対応が困難なケース（外国籍や障がい等があり、対面による支援が必要なケース）については、適宜、当会にて個別面談や相談会による対応を行った。

また、償還猶予中で猶予期間の終了間近の借受人に対しては、東京都社会福祉協議会が「借受人の生活状況に関する調査」を送付しており、その回答内容により、④区市町村社協での見守り支援、⑤自立相談支援機関での支援、⑥猶予期間終了後償還再開が可能な3段階に分類され、必要に応じて北区くらしとしごと相談センターの相談支援員と連携し定期面談を実施している。

イ. 実績

A. 償還猶予

意見書作成件数(件)	猶予相談件数(件)
23	423

B. 猶予後免除

意見書作成件数(件)
6

C. 償還免除相談

免除相談件数(件)
133

11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 3,109 千円、人件費 6,335 千円)

(1) 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業 (北区から受託) (9,444 千円)

① 事業内容

一定所得以下の世帯の子どもの進学を支援するため、以下の内容で貸付を行う。
進学後、一定の要件を満たすことで償還免除となる。

令和 4 年度より要件緩和が 2 点行われた。

1 点目は、世帯の所得・収入基準が生活保護基準の 1.1 倍から 1.5 倍へ変更となった。

2 点目は、これまで連帯保証人もしくは連帯借受人を 1 名設定することが必要であったが、どちらも不要となり、対象世帯が拡大された。

ア. 学習塾等受講料

中学 3 年生・高校 3 年生とも限度額 200,000 円

イ. 大学・高校受験料

高校・・・限度額 27,400 円 (計 4 回まで ※1 校あたりの上限 23,000 円)

大学・・・限度額 80,000 円 (回数や金額の制限なし)

② 実績

ア. 相談件数 (件)

令和 5 年度	令和 4 年度
1,486	1,413

※新規貸付相談、問い合わせ・継続相談、償還相談の総計

イ. 貸付件数 (件)

貸付区分・学年		件数・年度	
		令和 5 年度	令和 4 年度
学習塾等受講料	高校受験	81	76
	大学等受験	40	39
受験料	高校受験	80	79
	大学等受験	67	57
合計		268	251

12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業

(事務事業費 58 千円)

(1) 緊急援護たすけあい資金貸付事業 (58 千円)

① 緊急援護金貸付・給付事業

ア. 事業内容

緊急に資金を必要とする方へ、次の援護金等を貸付及び給付する。(北区に委託)

- ・北区在住の生活困窮者への緊急生活費貸付
- ・住所不定者への交通旅券支給

イ. 実績

区分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
緊急生活費貸付	215	1,354,900	207	1,376,390
交通旅券支給	20	2,000	0	0
合計	235	1,356,900	207	1,376,390

② たすけあい資金貸付事業

ア. 事業内容

緊急で一時的な出費によって、日常生活を脅かされるおそれがあり、他から資金を借り受けることが困難な世帯に対し、3万円を限度額として緊急生活資金等を貸し付ける。

イ. 実績

区分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
生活保護受給世帯	0	0	1	30,000
一般世帯	0	0	0	0

13. 子ども支援事業 (事務事業費 5,963 千円、人件費 13,727 千円)

(1) 学習支援事業 (北区から受託) (13,270 千円)

① 小学生対象学習支援教室

北区からの受託事業として、生活困窮者自立支援事業の任意事業である「子どもの学習支援教室」の立ち上げ・運営支援に取り組んでいる。

コロナウイルス感染症が5類に分類移行したことに伴い、9教室全てで対面学習が実施となった。

堀船教室については実施会場になっている大学の方針から、定員を絞ったうえで月の中で1回が対面、1回がオンラインという扱いで実施されたため、参加人数が少なくなっている。滝野川教室がこれまでの月2回から毎週木曜日実施することとなったため、延べ参加人数が増加している。浮間教室への参加希望が多い反面、田端教室では定員割れの状況となっている。

ア. 学習支援教室実施状況

教室名	開催時期・時間	延べ参加者人数 (人)	
		令和5年度	令和4年度
東十条	毎月第1、第3水曜日 17:30~19:00	192	120
滝野川	毎週木曜日 17:00~18:30	389	203
桐ヶ丘	毎月第2、第4土曜日 14:00~16:00	246	161
堀船	毎月第2木曜日・オンライン 16:30~18:00	63	78
王子	毎週月、木曜日 17:30~18:30 ※コロナ対応として、毎週月・木曜日に短時間分散開催とした	639	531
中十条・赤羽西	毎月第1、第3水曜日 16:30~18:30	145	150
豊島	毎月第1、第3土曜日 16:00~18:00	113	116
田端	毎月第1、第3水曜日 16:30~18:30	139	82
浮間	毎月第2、第4火曜日 16:30~18:30	196	83

イ. 学習支援関連支援実績

項目	令和5年度	令和4年度
	件数(件)	件数(件)
立ち上げ支援	2	93
運営支援	687	567
個別支援	125	117
会議	3	10
ボランティア調整	168	251
寄付(資金、物品)	5	15
心理ケア(研修、訪問相談会)	29	22
利用相談	51	21
キャリア教育(職業体験)	197	
その他	48	171

ウ. 学習支援教室運営団体への研修等

学習支援教室を運営する団体等を対象とした研修として実施した。教室に参加する子どもの中に発達面などに課題があると思われる児童がいた場合に、適切な対応をしたいという声がいくつかの教室から挙がっていたため、それを踏まえ学習以外の生活面・心理面の相談対応について運営者が適切な対応が取れるよう研修の場を設けた。

事業名	内 容	開催日	参加者数(人)
学習支援教室運営者 合同研修	「子どもとのかかわり方」 日本女子大学人間社会学部教育学科 特任教授 土上 智子氏	12/4	17

事業名	対象教室 (希望教室で実施)	内 容	開催日	参加者数(人)
学習支援教室 運営者 教室訪問相談会	田端教室	学習支援教室に通う ADHD の お子さんに対する対応につい て	1/17	8
	東十条教室	学習支援教室の心理ケア的な 観点からの環境整備など	1/31	20

エ. 運営者交流会・意見交換会

新たな取り組みとして、学習支援教室関係者間の情報交換、交流を通して、教室のさらなる質の向上、支援者のモチベーションアップを図り、教室運営団体、北区生活福祉課、北区社会福祉協議会3者の現況等を共有することで教室運営を円滑に進めるための意見交換を行った。

事業名	参加団体	開催日	参加者数(人)
運営者交流会・ 意見交換会	学習教室運営者(9教室) 北区生活福祉課 北区社会福祉協議会	7/20	23

オ. 学習支援ボランティアの募集

学習支援教室の運営の安定、及び新たな学習支援教室立ち上げを目指し、当会広報紙「きたふくし」や関係機関等へのチラシ配布などにより学習支援ボランティアを募集した。

項目	実施内容	掲載・実施数(回)	問合せ・応募件数
募集記事掲載	きたふくしへ172号への掲載	1	11

② キャリア学習イベント

子どもの学習・生活支援事業の一環として、広く区内の子どもたちの参加も求め、子どもたちが将来の夢を描く一助となることをめざし、キャリア学習として職業体験イベントを実施。

実施にあたっては、地域で子ども支援活動等を実施する団体や大学、企業等と連携、協働している。

一般社団法人 SHOIN 共催(講師協力)、順天中学校・高等学校協力(会場借用)、区内外の企業、職業人、医学部学生(講師協力)、ボランティアとして東京青年会議所北区委員会、東京家政大学ボラガール、東洋大学、順天中学校・高等学校からの協力により開催をした。

子どもの「知る喜び」、「学ぶ楽しさ」を育み、「どのような仕事につきたいか」「夢をかなえるためにはどのようなことをするべきか」を考えるきっかけとなるように工夫し企画した。

100名定員で実施し、小学生対象の学習教室参加者は優先参加とし、それ以外の一般参加についても、300人以上の申し込みがあり抽選での参加とした。

(共催団体)

一般社団法人 SHOIN

(協力)

順天中学校・高等学校協力(会場借用、運営)、東京家政大学ボラガール(運営)、東洋大学(運営)、ほか、講師(一覧を参照)

カ. キャリア学習イベント参加状況

イベント名	参加者数 (人)		
	内訳	令和5年度	令和4年度
「小学生のキャリア学習プログラム 北区で職業体験」	小学生	92	54
	講師	58	13
	ボランティア	53	38

コンテンツ	講師	内容
デジタルコンテンツ制作業	ていどらいぶ	Vtuber 体験
伝統工芸士	合同会社沼辺木版	木版画 擦り体験
法律家	吉原隆平総合法律事務所	模擬裁判体験
デザイナー業	SANKEI プランニング (株)	キャラクター製品作り体験
鉄道業	JR 東日本輸送サービス労働組合 東京地方本部	車掌、駅員、運転士体験
信用金庫	城北信用金庫	金融業務体験 (お札数え、窓口)
印刷業	東京インキ (株)	インキ色合わせ体験
木材卸売業	一條木材株式会社	木材遊び体験
医療従事者	慶應義塾大学 医学部学生	医師体験
声優	へいへいと遊ぼう!	声優体験

(2) ネットワーク支援事業 (5,816 千円)

北区からの受託事業として子ども食堂ネットワーク構築支援を行ったほか、フードパントリーネットワークの事務局として会議を開催した。そのほか、子ども支援活動の運営・立ち上げに関する相談及び支援、社会資源の調査についても取り組んでいる。

① 子ども食堂等ネットワークによる子どもの見守り体制強化事業 (北区から受託)

ア. ネットワーク会議及び研修

平成 30 年 6 月に発足した「北区子ども食堂ネットワーク」の事務局として、情報提供・情報交換、研修、寄付品の調整などを行うことで、子ども食堂活動の支援と連携強化を行っている。

コロナウイルス感染症が 5 類に分類移行したことに伴い、会議は原則対面とし、必要に応じてオンラインも活用しながら情報共有等を進めた。

また、令和 3 年度より北区役所からの子ども食堂助成を受ける団体は、虐待防止に関する研修を受講することとなり、子ども食堂ネットワーク会議後に子ども家庭支援センターと北区子ども未来課による虐待防止研修の実施について支援調整を行った。

項目	令和5年度	令和4年度
	件数(件)	件数(件)
立ち上げ支援(子ども食堂、パントリー)	52	22
運営支援	594	550
会議(子ども食堂、パントリー)	11	12
資金寄付・相談	14	7
物品寄付・相談	207	195
ボランティア調整	28	1
利用相談(子ども家庭支援センター)	30	10
ネットワーク構築	198	89
パントリー(利用相談他)	30	40
調査依頼(国や東京都等からの調査)	12	0
その他	40	33

イ. 子ども食堂に係る団体活動支援

区内の企業、団体、個人から子ども食堂で使ってほしいと食品の寄付があり、子ども食堂ネットワークのメーリングリストを使って、食品の配分を実施した。そのほかにも全国子ども食堂ネットワークからの研修、助成金、活動に役立つ情報等について事務局として発信を行った。

ウ. 北区フードパントリーネットワーク支援

令和5年度については、食品の購入が困難になった世帯等へ食品を渡す「フードパントリー」活動を行う区内の支援団体が5団体となった。パントリーネットワークの機能や連携について会議等で話し合いを行った。

② 子ども支援活動団体の立ち上げ・運営支援

子ども支援団体の設立、運営に関する相談・支援を実施した。利用できる助成金等の制度紹介の他、先進事例への見学同行、調整、個々の団体では難しい研修等を社協が開催することで、各団体における子ども支援強化について実施した。

子ども食堂の運営支援の一環として、全国子ども食堂ネットワーク交流会へ当会職員が参加し、そこで得た情報を北区の子ども食堂ネットワークで共有するなどを行った。

③ 他機関との連携

3カ月に1回「北区子ども家庭支援センター」「北区子ども未来課」「北区社会福祉協議会」の3者による定例会議を行い、事業予定、課題等の共有のほか、必要があれば個別のケース等が抱える問題解決に向けた話し合いを行った。定例会議を実施することにより、担当者間の顔の見える関係づくりにもつながり、各事業を実施する上でも相談、同行等の連携につながった。

生活困窮に陥った家庭からの子ども支援に関する相談にも対応し、必要に応じて専門機関につないだ。

(3) その他の子ども支援事業（604千円）

① 調査・広報啓発

子ども支援活動に取り組む団体が利用できる社会資源の調査、連携の可能性がある団体、個人へのヒアリング等を行った。

寄付（資金、物資など）の問い合わせに対しては、子ども支援事業に対する指定寄付として受付を行った際は、どのような活用をしたかフィードバックを寄付者に対して行い、承諾があればフェイスブック等で区内外に発信した。

②ひとり親世帯応援事業

ひとり親家庭の孤立防止を目的とした当事者同士の交流、仲間づくり、親と子のコミュニケーション、情報提供の場にもつながる「親子バスハイク」について、2019年以來4年ぶりに実施した。2019年時点での参加者は小学生以上となっている世帯が多く、新たに小学生の子どもを持つひとり親世帯との繋がりづくりを行った。40世帯90名から申し込みがあり、抽選により24世帯60名が参加して自然体験や昼食時等に交流を行った。参加者からは「普段外出が出来ない為貴重な機会となった」「ひとり親世帯のみの参加で話しやすかった」「バスハイク以外でも仲良くなった世帯と交流したい」などの意見や感想があった。

No.	項目	内容	開催日	参加数 (人)
1	夏休み親子バスハイク	マザー牧場（千葉県君津市） ・ 牧場散策 ・ 昼食（グループによるジンギスカン BBQ）	8/26	60

③ オレンジリボンキャンペーンへの協力

北児童相談所と北区子ども家庭支援センターが主催する、児童虐待防止の啓発活動「オレンジリボンキャンペーン」に協力し、商店街での啓発事業に参加した。

実施場所	実施日	内容
十条銀座商店街	11/13	児童虐待防止推進月間の啓発グッズの配布。民生委員・児童委員、東京成徳大学学生、東洋大学学生が参加。
赤羽 LaLa ガーデン	11/15	

II. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分

1. 歳末たすけあい運動事業 (事務事業費2,161千円)

(1) 歳末たすけあい運動事業 (2,161千円)

- ① 募金名称 歳末たすけあい・地域福祉募金
- ② 運動期間 令和5年12月1日～12月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会／東京都社会福祉協議会
- ④ 実施団体 北区町会自治会連合会／北区赤十字奉仕団／
北区民生委員児童委員協議会／北区社会福祉協議会
- ⑤ 協力 北区
- ⑥ 運動の成果

収入内訳		金額 (円)
ア. 募金収入		21,618,625
A.	町会・自治会連合会取扱分	20,338,460
B.	民生委員児童委員協議会取りまとめ分	61,829
C.	北区社会福祉協議会事務局取扱分	1,218,336
	王子法人会	10,000
	エコー広場館4館	6,625
	街頭募金・イベント募金	126,268
	個人・団体等募金	244,250
	窓口・職場募金	831,193
イ. 雑収入 (前年度繰越金および当年度利子収入)		23
ウ. 北社協負担分		0
収入合計		21,618,648

支出内訳		金額 (円)
エ. 東京都共同募金会納付金 (令和6年度地域福祉活動費に充当)		19,456,784
オ. 事務経費		2,161,864
支出合計		21,618,648

(令和6年3月19日監査実施日現在)

⑦ 委員会

令和5年度 第1回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
10/3	13	会計監事の選出 令和5年度北区歳末たすけあい運動の実施 令和5年度北区歳末たすけあい運動 実施・スケジュールの確認

令和5年度 北区歳末たすけあい運動実施団体説明会及び配分先団体による活動報告

開催日	出席者数(人)	付議内容
11/6	41	実施団体代表者紹介 令和5年度北区歳末たすけあい運動の実施 配分先団体による活動報告

令和5年度 第2回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
3/27	13	令和5年度北区歳末たすけあい運動 監査報告 令和5年度北区歳末たすけあい運動 活動報告

※ 平成28年度に、以下を任務とする「北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会」を設置。

- ア. 歳末たすけあい運動の実施内容に関する事
- イ. 会計監事の選出に関する事
- ウ. その他、北区歳末たすけあい運動の実施についての必要な事項

⑧ 監査

開催日	出席者数(人)	監査内容
3/19	9	令和5年度北区歳末たすけあい運動決算監査

Ⅲ. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分

1. 介護予防拠点施設事業

(指定管理者として北区から受託)

(桐ヶ丘 事務事業費8,010千円、人件費21,745千円

滝野川東 事務事業費3,148千円、人件費21,802千円)

(1) ぷらっとほーむ滝野川東及びぷらっとほーむ桐ヶ丘の運営

【事業内容】

① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 介護予防教室 (ストレッチや筋トレ、専門職による講座、フラワーアレンジ等)

イ. ボランティアや地域の方々との交流

A. 交流サロン縁じょいプログラム B. ボランティア活動 C. 情報提供等

ウ. その他 A. 自主グループ支援 (会場貸し, 交流会, 出前講座, 体力測定会) B. 連携事業等

② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービス提供に関する事業

身体の虚弱な高齢者を対象とした施設に通所して運動等のプログラムを提供するサービスを行っている。滝野川東は毎週木曜日、桐ヶ丘は毎週水曜日に実施。

ア. 通所型サービス事業

イ. 男女別登録者数

高齢者が地域ではつらつと自立生活を送るための支援プログラムを地域住民等と協働で実施している。

ウ. 来所者数・相談件数等 (延べ人数)

【実績】

① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 両施設合計延べ参加者数および実施回数

	交流サロン 講演会等 参加者数	介護予防教室参 加者数	担い手等 人材育成事業 参加者数 ※1	会場貸し 出前他 利用者数	ボラン ティア 活動	その他 ※2
4月	198	337	0	679	98	4
5月	238	313	0	820	134	36
6月	273	386	0	909	69	340
7月	253	322	55	780	147	260
8月	200	330	13	573	54	28
9月	307	286	16	686	132	95
10月	311	328	0	921	52	34
11月	356	367	0	774	74	129
12月	245	405	0	830	149	45
1月	335	346	0	758	83	0
2月	280	436	0	714	149	0
3月	392	378	0	696	69	69
計	3,388	4,234	84	9,140	1,210	1,040

年間実施 回数	284	288	7	1,061	321	79
------------	-----	-----	---	-------	-----	----

広報物 配布先 合計	2,114
------------------	-------

※1 介護予防リーダーフォローアップ講座 等

※2 利用者満足度調査、自治会・町会行事協力 等

イ. ボランティアや地域の方々との交流

A. 交流プログラム(交流サロン縁じょいプログラム)

施設名	協力団体	開催回数 (回)	参加人数 (人)
滝野川東	東クイリングの会/学生団体OTASUKE/北区 介護予防リーダーの会/聖学院高校/順天 中学校/おしゃべりサロン滝東 /89's flower/こころとからだの元気Lab. 他	51	720
桐ヶ丘	毎日体操/桐ヶ丘交流サロン/パステル こっとな/暁寿会/マイクロフレッシュクラ ブ他	245	2,896

B. ボランティア活動

施設名	内容	参加人数
滝野川東	おうちでボランティア/プログラム講師サ ポート/施設外事業でのサポート/会場設 営/利用者との交流/サロン開催他	964
桐ヶ丘	おうちでできる!ボランティア(手作り品 製作等)/プログラム講師/特技披露/庭整 備他	246

C. 情報提供

介護予防の普及啓発、グループ活動で活用できる資料の提供 (回数)

施設名	SNS、Webサイトの活用	お便り送付や掲示板活用
滝野川東	40	53
桐ヶ丘	35	35

ウ. その他

A. 自主グループ等支援 (回数)

施設名	会場貸し	交流会開催	出前講座, ご近所体操教室等	体力測定会
滝野川東	410	4	134	6
桐ヶ丘	387	7	67	8

B. 連携事業

施設名	内容	件数
滝野川東	<p>【地域住民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小物作り教室:小物作りレクチャー、交流 ・ペーパークイリング教室:ペーパークイリングレクチャー、交流 ・おしゃべりサロン:おしゃべり、交流 ・こころとからだの元気Lab.:アロマ講座、交流(オンライン、対面) <p>【高齢者あんしんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝野川西:閉じこもり防止 ・飛鳥晴山苑:ボランティア交流会、担い手主体のサロン立上げ 通いの場立上げ ・王子光照苑:ミニ老い支度講座 ・昭和町・堀船:通いの場立上げ ・新町光陽苑:閉じこもり防止、居場所づくり、通いの場立上げ ・滝野川はくちょう:自治会活動支援 ・豊島:理学療法士派遣、通いの場立上げ <p>【多世代交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生団体OTASUKE:ポッチャ体験、多世代交流 ・聖学院高校:ポッチャ体験、多世代交流 ・順天中学校:盆パラビクスレクチャー、多世代交流 <p>【専門職の講座】管理栄養士による栄養講座 理学療法士による介護予防講座</p> <p>【自治会等の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中里親和会:通いの場立上げ、スマホ教室 ・シルバーピア滝野川3丁目:通いの場立上げ <p>【1層生活支援コーディネーター】男性限定の通いの場立上げ 【北区介護予防リーダー】盆踊りレクチャー、体操レクチャー 交流</p>	55
桐ヶ丘	<p>【地域住民】</p> <p>朝活、みんなの夕はん処、赤北3さん、移動販売、ヴィ長屋 オータムフェスティバル、大橋病院70周年感謝祭 桐ヶ丘児童館運営委員会</p> <p>【高齢者あんしんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐ヶ丘やまぶき荘:通いの場継続支援、男性の居場所作り DVD上映会、通いの場立上げ支援、通所型サービスC支援 西地区住民懇談会 ・赤羽北:通いの場立上げ支援 ・西が丘園:ミニ老い支度、認知症サポーター養成講座 ・赤羽:通いの場立上げ支援 <p>【多世代交流】</p> <p>都立赤羽北桜高等学校、桐ヶ丘保育園、桐ヶ丘中学校 稲付中学校、東京歯科衛生専門学校</p> <p>【専門職の健康講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大橋病院:健康サポート講座 ・北区楽しい食の推進員:シニア向け栄養講座 ・健口応援隊:口腔講座 <p>【自治会等の活動】</p> <p>ラジオ体操、餅つき、ふれあい運動会、桐ヶ丘地区地域円卓会議 桐ヶ丘地区三団体合同新年懇親会、高齢者みまもりの会 防災訓練</p> <p>【北区介護予防リーダー】体操レクチャー</p>	33

② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービスを提供する事業
ア. 通所型サービス事業

施設名	施設定員	年間登録者	年間利用延数	施設別年間通所事業日数		定員に対する利用率 (%)
				木曜日	水曜日	
滝野川東	20	12	393	50		39.3
桐ヶ丘	30	27	817	49		55.6
合計	50	39	1,210			

イ. 年間登録者男女別内訳

施設	男性 (人)	女性 (人)	合計
滝野川東	3	9	9
桐ヶ丘	4	23	23
合計	7	32	32

ウ. 来所者数・相談件数等 (延べ人数 ※2施設合計)

(人)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護 予防 事業 関連	見学	0	0	0	0	3	0	3	7	2	3	4	2	24
	会場貸出し	472	482	471	463	341	450	531	465	432	457	423	475	5,462
	来所による 問合せ・相談	138	194	173	186	165	188	160	227	356	218	222	220	2,447
	その他問合せ相談	459	566	582	500	533	574	523	494	580	587	650	659	6,707
	合計	1,069	1,242	1,226	1,149	1,042	1,212	1,217	1,193	1,370	1,265	1,299	1,356	14,640
通所 事業 関連	利用に向けた見学	2	4	0	2	2	1	0	4	1	1	2	2	21
	事業協力者	5	5	8	22	19	36	9	9	11	28	10	20	182
	来所による 問合せ・相談	16	26	11	5	6	3	7	6	4	10	10	14	118
	その他問合せ相談	40	27	26	28	52	30	33	26	21	31	34	31	379
	合計	63	62	45	57	79	70	49	45	37	70	56	67	700
上記 以外	来所による 問合せ・相談	300	299	269	284	255	343	321	242	271	228	263	240	3,315
	その他問合せ相談	69	81	92	88	95	82	112	72	83	49	61	79	963
	合計	369	380	361	372	350	425	433	314	354	277	324	319	4,278
視察研修実習		14	4	32	18	35	14	41	45	1	1	2	2	209

2. 要介護認定調査事業（北区から受託）

（事務事業費10,957千円、人件費78,402千円）

(1) 要介護認定調査事業（89,359千円）

【事業内容】

北区より委託を受け、指定市町村事務受託法人として、介護保険の要介護認定調査を行う。

【実績】

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査件数	731	713	869	1,018	1,085	951	816	745	668	723	757	792	9,868
前年度実績	675	636	682	615	698	742	714	701	616	654	750	795	8,278

IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分

1. 自動販売機設置拠点事業

(1) 自動販売機設置拠点事業

平成21年度より設置・管理を実施

【販売手数料収入合計】

320,061 円

(前年度：438,784円)

No.	設置場所	所在地	設置業者	台数 (台)
1	東京都北区役所第二庁舎 (自動写真機)	北区王子本町一丁目2番1号	ワールド・アメニティ	1
合 計				1

V. その他

1. 地区担当

地域の福祉課題把握のために、職員を王子・赤羽・滝野川の3地区に分け、部署や職層を超えて地域との「顔の見える」関係づくりを進めている。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類となり、北区区民まつりや各種会合等への参加等を行った。

引き続き、各地区の地域福祉活動の推進につながるよう、取り組んでいく。

①各地区における活動状況

(件)

No.	項目	王子		赤羽		滝野川		合計	
		令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
1	行事、会合参加・見学等	1	2	1	2	0	2	2	6
2	出前講座	0	0	0	0	0	0	0	0
3	相談援助	0	0	0	0	0	0	0	0
4	広報協力店への訪問	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務

平成25年度より、東京都共同募金会北地区協力会の事務局を担い、北地区協力会及び北地区配分推せん委員会の運営に携わっている。

(1) 東京都共同募金会北地区協力会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金
- ② 運動期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会
- ④ 実施団体 北地区協力会

⑤ 理事会

開催日	出席者数 (人)	内容
4/27	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度東京都共同募金会北地区協力会 決算報告・監査報告 ・ 令和5年度東京都共同募金会北地区協力会 予算案、事業計画案 ・ 令和5年度東京都共同募金会北地区協力会 総会について
9/27	23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長、副会長、監事の選任 ・ 令和5年度の赤い羽根共同募金の進め方 ・ 総会における委任状の取り扱いについて

⑥ 総会

開催日	出席者数 (人)	内容
4/27	55	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度東京都共同募金会北地区協力会 活動報告、決算報告 ・ 令和5年度東京都共同募金会北地区協力会 事業計画、予算案

⑦ 事務打ち合わせ会

開催日	出席者数 (人)	内容
8/28	92	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日赤奉仕団各分団・地域振興室との令和5年度募金活動に関する事務打合せ及び受配団体活動報告 ・ 日赤奉仕団各分団に「分団活動費」配付(手渡し) ・ 各地域振興室に「共同募金運営事務費」配付(手渡し)

⑧ 監査

開催日	出席者数 (人)	内容
4/11	8	令和4年度赤い羽根共同募金決算監査

⑨ 募金実績

(円)

戸別募金	19,130,939
事務局預かり	159,454
令和5年度合計	19,290,393
(参考) 令和4年度合計	20,001,373

(2) 配分推せん委員会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動の審査及び東京都共同募金会への配分の推せんを行う。
- ② 委員の構成 北区町会自治会連合会/北区赤十字奉仕団
東京都共同募金会北地区協力会/北区民生委員児童委員協議会
北区社会福祉協議会
- ③ 委員会

開催日	出席者数 (人)	内容
6/19	16	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選任 ・令和4年度 歳末たすけあい募金 助成事業実績報告 ・令和5年度 歳末たすけあい募金 前期助成金申請内容の審査
10/23	16	<ul style="list-style-type: none"> ・副委員長の選任 ・令和5年度 歳末たすけあい募金 後期助成金申請内容の審査
1/22	16	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度赤い羽根共同募金 集計結果報告 ・赤い羽根共同募金 令和5年度申請 地域配分 (B配分) の審査 ・令和5年度歳末たすけあい運動募金 集計結果報告 ・地域ささえあい助成の見直しについて ・令和6年度地域福祉活動費配分事業計画 (案) について

④ 地域配分・地域福祉活動事業配分 (B配分) 実績 (地域で集めた募金を地域で活用できる配分)

	法人・団体数	配分申請額 (円)	配分決定額 (円)
令和5年度申請・令和6年度使用 地域配分	24法人・団体 50施設	10,610,000	10,610,000
令和5年度申請・令和6年度使用 地域福祉活動事業配分	2事業	2,390,000	2,390,000
合計		13,000,000	13,000,000

地域配分：施設の利用者が使用する備品や、小破修理、研修などの事業のために助成される配分金（上限：30万円）

地域福祉活動事業配分：区市町村社会福祉協議会が実施する地域福祉事業へのB配分の申請。

（当該地区の社会福祉施設等からの配分申請額の合計がB配分総金額の上限に満たない場合、地区募金の一定額を地域の福祉活動に活用する目的から、前年度の募金実績の25%を超えない範囲で配分対象とできる。）

〈参考〉

令和4年度申請・令和5年度使用B配分実績 26法人・団体 55施設 13,050,000円

